

令和4年度事業報告について

一般社団法人 福島市観光コンベンション協会

令和4年度 事業報告書

令和5年3月31日

1 令和4年度基本理念、及び基本方針

- 1-1 基本理念
- 1-2 基本方針

2 ROIおよびKPI総括評価

- 2-1 地域貢献ROI（平均値）
- 2-2 平均消費額、満足度
- 2-3 個別事業KPI目標達成率（47指標の平均値）
- 2-4 事業別KPI達成状況
- 2-5 ROI及びKPIの考え方
- 2-6 ROI及びKPI総括評価

3 活動総括評価

4 受託事業（国・県・市・その他組織から受託した事業）

4-1 市からの受託事業

- ・【委託業務①】 令和4年花見山観光客対応業務
- ・【委託業務②】 福島市降雹被災者支援業務委託
- ・【委託事業③】 ふるさと納税PRに係るテレビ番組制作対応業務委託
- ・【委託事業④】 福島駅前軽トラ市情報発信事業業務委託
- ・【委託事業⑤】 定住交流NOTE事業業務委託
- ・【委託事業⑥】 「ちょうどいい旅ふくしまステイ」周遊促進キャンペーン業務委託

4-2 その他組織からの受託事業

- ・【業務委託⑦】 ロケツーリズム関連情報発信業務
- ・【業務委託⑧】 看板事業創出事業

4-3 当会傘下団体【福島バリアフリーツアーセンター】受託事業

- ・【業務委託⑨】 ユニバーサルデザインのまちづくり事業
- ・【業務委託⑩】 心のバリアフリー推進事業

5 補助事業（国・県・市・その他組織から補助金を受けて実施した事業）

5-1 国補助事業

- ・地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業

5-2 県補助事業

- ・ワクチン集団職域接種事業は、自主事業（6-3-1）で実績報告

5-3 市補助事業（継続業務／確実な執行を義務づけられている業務）

- ・ガイドマップ等作成事業
- ・旅行エージェント等tie-up事業
- ・コンパニオン誘致事業

5-4 市補助事業（先駆的事业／当会の戦略に基づき先行展開を行う事業）

5-4-1 外貨獲得戦略事業

5-4-1-1 仮想と現実のマーケティングの融合による誘客促進

- ・自社記事発信型WEBサイトの更なる機能強化
- ・人対人による交流接点の更なる強化（観光案内所）
<観光案内所関連事業5件>
 - ・①多言語市民コンシェルジュ事業
 - ・②観光案内所物販事業
 - ・③観光案内所斡旋事業
 - ・④観光案内所その他収益事業
 - ・⑤福島市周遊スポット魅力アップ支援事業
- ・SNS利用者による当地コメント発信状態の調査

- 5-4-1-2 女性来訪者の満足度や消費額を上げるための体験商品づくり・販売促進
 - ・持続可能な社会向けコンテンツ（土湯・高湯）
- 5-4-1-3 来訪者が循環する仕組みづくり
 - ・「ちょうど良い旅、ふくしまステイ。」ブランディングプロモーション
- 5-4-1-4 MICE（コンベンション等誘致）
 - ・MICE誘致支援
 - ・デジタルMICEシステムによるMICE誘致支援
- 5-4-2 関係人口拡大戦略事業
 - 5-4-2-1 バリアフリーツーリズム
 - ・福島市バリアフリーマスタープランに則した活動
 - 5-4-2-2 域内外の組織や個人との連携支援
 - ・女性マーケティング専門組織との連携による根拠あるターゲット設定

6 自主事業（先駆的事業／当会の戦略に基づき先行展開を行う事業）

6-1 外貨獲得戦略事業

- 6-1-1 仮想と現実のマーケティングの融合による誘客促進
 - ・非イベント型キャンペーン
（ふくしまピーチホリデイ、ふくしまアップルホリデイ）
- 6-1-2 2023年を見据えた（アジア）誘客促進
 - ・台湾に対するプロモーション
- 6-1-3 来訪者が循環する仕組みづくり
 - ・外貨獲得・来訪者が循環する仕組み
 - ・オリジナルふりかエールプロジェクト
 - ・ぐるりいいざか
- 6-1-4 デジタル時代の効果的な誘客を支えるデータ収集・解析・分析
 - ・福島市へのご宿泊ありがとうキャンペーン
- 6-1-5 ツーリズムEXPO出展
 - ・ツーリズムEXPO出展

6-2 内発循環戦略事業

- 6-2-1 生産者から飲食事業者への果実規格外品供給仕組みづくり
 - ・生産者から飲食事業者への果実規格外品供給仕組みづくり

6-3 関係人口拡大戦略事業

- 6-3-1 共創の仕組みづくり
 - ・ワクチン集団職域接種事業

6-4 先進マーケティング組織（先進DMOを目指した組織改革）戦略事業

- 6-4-1 先進マーケティング組織（先進DMOを目指した組織改革）
 - ・データ分析講座
 - ・プレスリリース講座
 - ・プレエディット講座
 - ・先進マーケティング機能強化

6-5 ふるさと納税運営事業

7 メディア掲載実績

- 7-1 新聞掲載実績
- 7-2 テレビ等放送実績
- 7-3 オンラインメディア掲載実績

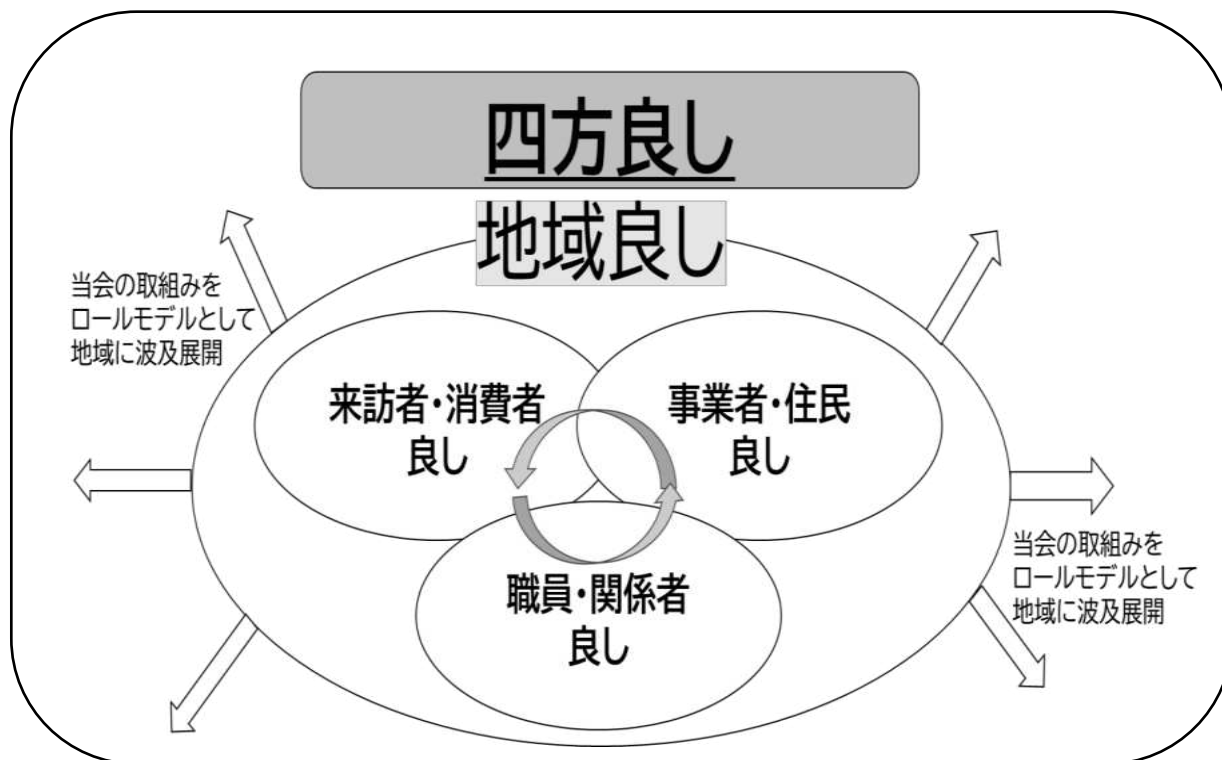
8 事務局組織図

9 会議（主体的に開催した会議）

10 名義後援等

1 令和4年度基本理念、及び基本方針

1-1基本理念



1-2基本方針

不確実な時代。コレクティブに、未来を切り拓こう!!

～活動方針～

1. 外貨獲得(デジタル・アナログ・融合型を問わず、消費の個人化に対応してしっかりと稼ぐ仕組みづくり)

- ① MICE 誘致業務の当会への全面移管による誘致戦略の抜本的改革(新たに付与された役割)
- ② 徹底した女性視点マーケティングに基づく、来訪者誘引・消費向上の仕組みづくり
- ③ ふるさと納税 15 億円への挑戦(2021 年度見込み 12.5 億/2020 年度 8.2 億/2019 年度 1.3 億)
- ④ コペンハーゲン型(星野リゾート型)経験価値創出による顧客満足度と消費向上の仕組みづくり
- ⑤ DMO ポジションを活用した観光庁大型補正・当初予算獲得による個社経営強靱化および地域力強化

2. 内発循環(多様なビジネスモデルによる持続可能な地域経済循環モデルづくり)

- ① デジタル CRM の市内全域展開による複層的・広域的な経済波及および循環効果向上の仕組みづくり
- ② コペンハーゲン型(星野リゾート型)経験価値創出による経済波及および循環効果向上の仕組みづくり
- ③ ふるさと納税と来訪者データ分析および戦術融合による経済波及効果向上の仕組みづくり

3. 関係人口拡大(消費者・来訪者との関係深化による地域課題の解消や地域価値創出)

- ① 専門家等による地域データ分析を前提とした効果的な誘客や消費向上の仕組みづくり
- ② 自社型 HP とおもてなし交流拠点型案内所の戦術融合による経済波及効果向上の仕組みづくり

2 ROIおよびKPI総括評価

2-1 地域貢献ROI(平均値)

・目標：10.0

・実績：10.1(算出根拠:1,638,834千円÷161,547千円)

2-2 平均消費額、満足度

・目標：消費額 25,000円 満足度70%

・実績：消費額 27,128円 満足度40%(※)

(福島市へのご宿泊ありがとうございますキャンペーンにもとづき検証)

※年度途中に測定方法を変更(5段階⇒7段階の最高評価「非常に満足」と回答した人の割合を算出)

2-3 個別事業KPI目標達成率(47指標の平均値)

・目標：110.0%

・実績：141.3%

2-4 事業別KPI達成状況

- ・受託事業および国、県補助事業(5指標) : 83.4%
- ・外貨獲得戦略事業(36指標) : 152.8%
- ・関係人口拡大戦略事業(2指標) : 112.5%
- ・ふるさと納税事業(4指標) : 125.0%

2-5 ROIおよびKPIの考え方

①地域貢献ROI(Return On Investment/投下資本利益率)算出方法
(地域貢献効果/直接効果+間接効果)÷(投下額/事業費+人件費)

- ・直接効果:主に経済効果 ・間接効果:主にコマーシャル効果
- ・目標を『ROI』とした理由:当会の存在意義は地域への貢献であるため
- ・ROI数値が大きいほど、レバレッジが効いている(貢献効率が低い)状態を意味する。
- ・例:ROI『7.0』とは、投下額1億円で、地域貢献効果が7億円におよぶ状態のこと。

②KPI(Key Performance Indicator/重要達成度指標)設定方法

- ・KPI設定方法はOKR(Objectives and Key Results/目標と主要な結果)に拠る。
- ・OKRとは、当会目標ROI『7.0』を達成するために講じる手段に対してKPI設定し、常に検証や補正を行う目標達成アプローチである。

2-6 ROIおよびKPI総括評価

①ROI(主要評価指標)

コロナ禍により非常に厳しい状況が続く中、地域DMOとして事業展開した結果、目標ROI『10.0』に対して『10.1』を達成することができた。特にふるさと納税運営事業は地域貢献効果全体額の60.9%(998,468千円)を占め、ROIは『16.8』を記録するなど、地域貢献事業の大きな柱に成長している。

また、国補助事業(地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化)も地域貢献効果全体額の13.0%(213,981千円)を占め、ROIは『202.63』を記録した。

②KPI(個別事業評価指標)

ROI『10.0』を達成するために講じる手段の評価指標である『KPI』については141.3%となり、達成率128.4%を記録して目標値を大きく上回った。

3 活動総括評価

全国に類を見ない原発関連災害で毀損したブランドイメージの回復、あるいは風評払しょくに向き合うためには、デジタル社会に適合した極めて高度なブランディングやマーケティング能力を備えた全国トップクラスの実力が必要である。

5年前に着任した事務局長は成長戦略プラン『VISION2020/2021』を掲げながら思い切った改革を進めてきたが、当初の計画通り今年度末をもって退任することが確定していたため、次期体制への移行を加速しつつ「四方よし(三方よし)」を基本理念とした地域貢献活動を展開した。

①県内初の本格的オウンドメディア『福島市観光ノート』は、編集長を中心に多様な女性市民ライターにも協力いただくチーム体制により、女性視点を重視した配信を重ねたことで、昨年度を約1.5倍上回る300万ビューを突破した。

②地域DMOとして基礎データを収集するために実施している『福島市へのご宿泊ありがとうキャンペーン(デジタル宿泊者調査)』は、市内3温泉観光協会、市旅館ホテル協同組合の会員施設に協力いただき、前年度を約2.1倍上回るサンプル数(16,864件)を収集することができた。その分析データは、当会だけでなく、地域内事業者を提供することで戦略策定に活用いただいている。

③ふるさと納税事業は業務受託して3年目となるが、寄付者目線での返礼品開発を進めてきたこともあり、寄付額や寄付件数は2022年度も県内1位となっている。

④先進的DMOを目指した組織改革も進めており、当会職員や会員事業者、及び各温泉協会会員事業者等を対象としたデジタル社会への対応するための3講座を行い、のべ100名に参加いただいた。

世界的なコロナ禍を契機に、地域DMOに対しても持続可能な観光産業の育成等の「質的貢献」が求められるようになってきた。引き続き当会は『四方よし(三方よし)』の理念に沿い、事業者支援を最重要施策に据えつつ、アフターコロナ戦略『外貨獲得・内発循環・関係人口拡大』を推し進めることで、『持続的な観光地づくり』に貢献できる地域DMOを目指して改革を加速させたい。

なお、改革が進捗するにつれ、補助対象外領域(バリアフリーやふるさと納税等)での活動が増加の一途を辿っているが、領域連携を積極的に推進している関係上、切り離しての報告は不自然であると判断し、昨年同様に全事業を掲載した。

4 受託事業(国・県・市・その他組織から受託した事業)

4-1 市からの受託事業

事業名称	【委託業務①】令和4年花見山観光客対応業務 (令和4年2月8日～6月30日)
報告担当者	高橋 康
事業内容	花見山観光案内所の設営や運営、手荷物預かり所の設置や運営、花見山公園内、及び物産広場の安全対策、コールセンターの開設、ボランティアガイドの活動費等支払事務、臨時駐車場整地作業、来訪者アンケート作業、花見山周辺の環境美化作業、車いす解除ボランティア活動費等支払事務など
事業目的	開花時期にあわせた受入態勢を整備することで、来訪者に安心して観光していただく環境を提供する。
事業目標(KPI)	福島市(花見山振興協議会)の事業目標に準ずる。
事業協力体制 (主催・共催・協賛・後援)	主催:福島市、受託:当会
売上/年	0円
費用/年	6,208,291円
売上総利益/年	345,509円
公益事業補助金投入額/年	6,553,800円(委託金額)
協会自主財源投入額/年	0円
事務局員対応延べ人数/年	2名(390,950円/261,000円+129,950円)
協会収益ROI 売上総利益÷(投資額+人件費)	ROI 0.05 345,509÷6,599,241円(事業費 6,208,291円+人件費 390,950円)=0.05
経済波及効果を受けた事業者数/年	25社(警備会社、コロナ対策物品購入、保険など)
地域への波及効果内容	・花見山やその周辺、及び市内観光関連施設等への経済波及効果 ・来訪者アンケートの結果 97.6%が満足との回答 ⇒回答者の 99.0%が家族や親しい人に福島を紹介したい。
メディア報道回数/年	0
メディア報道広告効果/年	0
SNS・WEB発信回数/年	SNS(Twitter 116回)、WEB(HP 87回更新)
SNS・WEBリーチ人数/年	SNS(Twitter 267,963)、WEB(PV 637,611)
来場者・購入者・申込者総数/年	59,000人
地域への波及効果(額)	合計効果 7,483,513円 直接効果 6,208,291円 間接効果 1,275,222円
地域への波及効果換算額に対するROI 波及効果産出額÷(投資額+人件費)	ROI 1.13 7,483,513円÷6,599,241円 (事業費 6,208,291円+人件費 390,950円)=1.13
特記事項	

事業名称	【委託業務②】福島市降雹被災者支援業務委託 (令和4年6月20日～令和5年3月31日)
報告担当者	横葉 純一
事業内容	6月に発生した降雹の影響で、農作物に被害での出た生産事業者を支援するため、全国に対し降雹被災生産者への支援を呼びかけ、雹害果販売者情報等を集約するポータルサイトを作成し、雹害果の販売支援を図る。また、サービスの利用を促すため広く発信する。あわせて、作成したポータルサイトを活用し、雹害果商品のウェブ販売およびリアル販売の出展等を行う。

事業目的	ひょう被害の影響により、本来の正規価格では販売ができなくなった(傷物商品として取り扱われるために、単価の下落による生産者の収入減)果物の販売促進と、ピンチをチャンスとした福島の果物の販売促進
事業目標(KPI)	福島市(農業振興課)の事業目標に準ずる。
事業協力体制 (主催・共催・協賛・後援)	主催:福島市、受託:当会
売上/年	ふくしま市場でのWEB販売実績:1,695,080円 イベント出展等でのリアル販売実績:以下合計 3,881,850円 ・仙台三越販売会:906,800円 ・仙台駅内販売会:652,060円 ・もったいない野菜マルシェ:434,800円 ・ふくしま SDGs 博:126,900円 ・東北農政局:308,200円 ・ツーリズムEXPOジャパン:819,000円 ・高輪ゲートウェイ駅前イベント:38,090円 ・仙台三越販売会(秋):143,400円 ・荒川区役所:227,000円 ・福島市役所:225,600円
費用/年	14,030,611円
売上総利益/年	11,494,789円
公益事業補助金投入額/年	19,948,500円(委託金額)
協会自主財源投入額/年	0円
事務局員対応延べ人数/年	担当職員:1人/年(5日/月×8か月=998,720円) イベントスタッフ数:20人日(400,000円)
協会収益ROI 売上総利益÷(投資額+人件費)	ROI 0.635 9,799,739円÷15,429,331円(事業費14,030,611円+人件費1,398,720円)
経済波及効果を受けた事業者数/年	WEB販売参画事業者:6社 リアルイベントで販売支援を受けた農業生産者:12社 桃・梨・りんごメニュー開発事業者:のべ64社
地域への波及効果内容	本事業を通じて、ひょう被害を受けた実態をポータルサイトを介して支援を呼びかけた。インターネットでの福島の果物の販売についてはふくしま市場WEBサイトへ掲載することで、各生産者の販路を拡大することに繋がった。また、リアル販売の出展についても積極的に参加をし、仙台市内の商店街内や駅構内、都内駅前イベント出展など、規格外やひょう被害の果物の販売と、福島の果物の魅力を発信することに繋がった。
メディア報道回数/年	新聞(民友):2回
メディア報道広告効果/年	新聞(民友):66,000円
SNS・WEB発信回数/年	ふくしま市場:メルマガ4回 ふくしま市場 Facebook ページ記事発信:3回 ふくしま市場 Instagram 記事発信:3回
SNS・WEBリーチ人数/年	ふくしま市場メルマガ:配信51,329円(51,329件) 開封3,070,200円(10,234件)
来場者・購入者・申込者総数/年	WEB販売(ふくしま市場):291人 リアルイベント販売:約10,000人
地域への波及効果(額)	合計効果 8,764,459円 直接効果 5,576,930円 間接効果 3,187,529円
地域への波及効果換算額に対するROI 波及効果産出額÷(投資額+人件費)	ROI 0.41 8,764,459円÷21,347,220円(事業費19,948,500円+人件費1,398,720円)=0.41
特記事項	

事業名称	【委託事業③】ふるさと納税PRに係るテレビ番組制作対応業務委託 (令和4年8月1日～10月31日)
報告担当者	横葉 純一
事業内容	BSテレ東のテレビ番組『都会を出て暮らそうよ BEYOND TOKYO』にて、福島市を特集する番組を制作。 市のふるさと納税をはじめ、観光、産品、移住など様々な魅力をPRした。
事業目的	地域の観光や移住に関する情報を毎週届ける「都会を出て暮らそうよ BEYOND TOKYO」を通じて、福島市の観光、ふるさと納税、移住などの情報発信を日本全国へ発信し、認知拡大を図る
事業目標(KPI)	福島市(政策調整課)の事業目標に準ずる。
事業協力体制 (主催・共催・協賛・後援)	主催:福島市、受託:当会、協力:テレビ東京
売上/年	0円
費用/年	106,448円
売上総利益/年	388,552円
公益事業補助金投入額/年	495,000円(委託金額)
協会自主財源投入額/年	0円
事務局員対応延べ人数/年	1人(実働5人日)70,000円×5日=350,000円
協会収益ROI 売上総利益÷(投資額+人件費)	ROI 0.45 388,552÷845,000円(事業費495,000円+人件費350,000円)
経済波及効果を受けた事業者数/年	出演事業者(ぼんさいやあべ):1社 取材対象市内事業者:5社
地域への波及効果内容	
メディア報道回数/年	テレビ番組放映 10月12日(水)22時～約1時間
メディア報道広告効果/年	番組制作放映料:4,000,000円(担当者人間関係から制作費を無償提供) 広告効果:45分×BS番組A時間帯@6,667円/15秒換算 =1,200,060円
SNS・WEB発信回数/年	番組公式 Youtube:視聴数 3,365回 10月12日(水)22時～配信開始
SNS・WEBリーチ人数/年	3,365PV
来場者・購入者・申込者総数/年	-
地域への波及効果(額)	合計効果 5,200,000円 直接効果 0円 間接効果 5,200,000円
地域への波及効果換算額に対するROI 波及効果産出額÷(投資額+人件費)	ROI 6.15 5,200,000円÷845,000円(事業費495,000円+人件費350,000円)=6.15
特記事項	

事業名称	【委託事業④】福島駅前軽トラ市情報発信事業業務委託 (令和4年6月21日～令和5年3月31日)
報告担当者	横葉 純一
事業内容	・情報発信業務 「WEB軽トラ市」サイトの企画・制作・運営 SNSを活用した広告の出稿・広報活動 ・動画制作
事業目的	市の農作物の魅力や安全性について正確な情報を全国へ発信し、放射能等の誤った認識をただすとともに、本市産農産物の魅力に関心を持ってもらうことにより、農産物の販路拡大・風評払拭を図る。

事業目標(KPI)	市(農業振興課)の事業目標に準ずる。
事業協力体制 (主催・共催・協賛・後援)	主催:福島市、受託:当会 協力:株式会社 SML
売上/年	0 円
費用/年	4,429,740 円
売上総利益/年	0 円
公益事業補助金投入/年	4,294,620 円(委託金額)
協会自主財源投入額/年	135,120 円
事務局員対応延べ人数/年	1 人(事務処理)のべ 2 人日 70000 円×2 日=140,000 円
協会収益ROI 売上総利益÷(投資額+人件費)	ROI 0 0÷4,434,620 円(事業費 4,295,620 円+人件費 140,000 円)
経済波及効果を受けた事業者数/年	市内 21 事業者(WEBでの生産者紹介)
地域への波及効果内容	-
メディア報道回数/年	-
メディア報道広告効果/年	-
SNS・WEB発信回数/年	Youtube 動画 1 本
SNS・WEBリーチ人数/年	Youtube 動画インプレッション 660 回 効果額:19,800 円
来場者・購入者・申込者総数/年	-
地域への波及効果(額)	・合計効果 19,800 円 ・直接効果 0 円 ・間接効果 19,800 円
地域への波及効果換算額に対するROI 及効果産出額÷(投資額+人件費)	ROI:0.004 19,800 円÷4,574,620 円(4,434,620 円+140,000 円) =0.0004
特記事項	

事業名称	【委託事業⑤】定住交流 NOTE 事業業務委託 (令和4年10月11日～令和5年3月31日)
報告担当者	横葉 純一
事業内容	福島市定住交流課の note アカウントページの企画運営 記事の作成・発信
事業目的	メディアプラットフォーム「note」を活用して、福島市で暮らす情報を発信することで、移住先の候補として興味を持っていただくとともに、福島市への移住への関心度を高めてもらい、移住・定住促進及び関係人口拡大を目的とする。
事業目標(KPI)	福島市(定住交流課)の事業目標に準ずる。
事業協力体制 (主催・共催・協賛・後援)	主催:福島市、受託:当会 協力:株式会社 SML
売上/年	0 円
費用/年	683,012 円
売上総利益/年	35,948 円
公益事業補助金投入額/年	718,960 円(委託金額)
協会自主財源投入額/年	0 円
事務局員対応延べ人数/年	1 人(事務処理のみ 0 円)
協会収益ROI 売上総利益÷(投資額+人件費)	ROI 0.05 35,948÷718,960 円(事業費 718,960 円+人件費 0 円)

経済波及効果を受けた事業者数/年	-
地域への波及効果内容	-
メディア報道回数/年	-
メディア報道広告効果/年	-
SNS・WEB発信回数/年	note 記事発信 40 本
SNS・WEBリーチ人数/年	note フォロワー 28 人 note 記事「いいね」数(ハートマーク) 320 広告効果 9,600 円
来場者・購入者・申込者総数/年	-
地域への波及効果(額)	・合計効果 9,600 円 ・直接効果 0 円 ・間接効果 9,600 円
地域への波及効果換算額に対するROI 波及効果産出額÷(投資額+人件費)	ROI:0.01 9,600 円÷718,960 円=0.01
特記事項	

事業名称	【委託事業⑥】「ちょうどいい旅ふくしまステイ」周遊促進キャンペーン業務委託（令和4年10月19日～令和5年2月28日）
報告担当者	横葉 純一
事業内容	キャンペーン名「ちょうどいい旅、ふくしまステイ」シールラリー 開催期間 10月22日(土)～12月31日(土) 仕組み: ①福島市内の宿泊施設でチェックイン時にはがき大のラリー台紙を配布。 ②宿泊施設を含め、対象スポット3カ所を巡りシールを集める。 ③必要事項を記入し、道の駅ふくしま・福島市観光案内所(JR福島駅西口)に設置の応募箱に投函、または切手を貼って郵送。 ※宿泊前に、シールを集めたい方向けには、ダウンロード用紙を準備。印刷し、ラリー台紙として利用できるようにした。 参加施設 宿泊施設 85 件、観光スポット 24 件
事業目的	福島県「来て。」割(全国旅行支援)の実施に伴い、市内宿泊施設利用者を対象とした福島市内の観光施設周遊を促す、シールラリーを実施
事業目標(KPI)	福島市(観光交流推進室)の事業目標に準ずる。
事業協力体制 (主催・共催・協賛・後援)	主催:福島市、受託:当会、協力:CJ
売上/年	0 円
費用/年	2,545,620 円
売上総利益/年	444,840 円
公益事業補助金投入額/年	2,990,460 円(委託金額)
協会自主財源投入額/年	0 円
事務局員対応延べ人数/年	1 人(事務処理 0 円)
協会収益ROI 売上総利益÷(投資額+人件費)	ROI 0 0÷2,990,460 円(事業費 2,990,460 円+人件費 0 円)
経済波及効果を受けた事業者数/年	周遊施設 宿泊施設 85 件、観光スポット 24 件
地域への波及効果内容	3,550,000 円

	①周遊キャンペーンによる消費効果 応募 950 件 1施設 1,000 円の消費とし、 950 件×3000 円=2,850,000 円 ②事業内懸賞景品の購買による経済効果 700,000 円
メディア報道回数/年	-
メディア報道広告効果/年	-
SNS・WEB発信回数/年	-
SNS・WEBリーチ人数/年	SNS広告 ・仙台市内 リーチ:7,414 件 インプレッション:17,790 件 リンククリック 192 回(単価 100 円) ・山形市・米沢市 リーチ:7,183 件 インプレッション 22,826 件 リンククリック 115 回(単価 100 円) ・東京 23 区 リーチ:41,551 件 インプレッション:119,287 件 リンククリック 532 件(単価 100 円)
来場者・購入者・申込者総数/年	応募件数 950 人
地域への波及効果(額)	合計効果 3,633,900 円 直接効果 3,550,000 円 間接効果 83,900 円
地域への波及効果換算額に対するROI 波及効果産出額÷(投資額+人件費)	ROI 1.22 3,633,900 円÷2,990,460 円(事業費 2,990,460 円+人件費 0 円)
特記事項	

4-2 その他組織からの受託事業

事業名称	【業務委託⑦】ロケツーリズム関連情報発信業務 (令和4年4月1日～令和5年3月31日)
報告担当者	金澤 千裕
事業内容	福島市ロケツーリズム推進会議のホームページ、SNS(Twitter、Instagram)、YouTube の管理/運営/改修業務。ロケ地巡り記事作成業務。観光ノート連携。ロケ支援、制作会社問合せ対応、ロケ支援事業者/エキストラ登録業務、朝ドラ 3 市連携事業(物産および移住定住事業)補助
事業目的	ロケ後の経済波及効果を最大限に引き出し持続させ、観光誘客および移住定住を促す。
事業目標(KPI)	福島市(観光交流推進室)の事業目標に準ずる。
事業協力体制 (主催・共催・協賛・後援)	主催:福島市、受託; 当会、アドバイザー契約:金澤千裕
売上/年	0 円
費用/年	3,626,050 円
売上総利益/年	0 円
公益事業補助金投入額/年	1,500,000 円(委託金額)
協会自主財源投入額/年	2,126,050 円
事務局員対応延べ人数/年	1 名/年
協会収益ROI 売上総利益÷(投資額+人件費)	0÷3,626,050 円(1,500,000 円+2,126,050 円)=0

経済波及効果を受けた事業者数/年	20 社/年(番組内で取り上げられた事業者数)
地域への波及効果内容	首都圏で視聴率が高い有名番組や著名人によるロケが多かったが、福島では放映されていない番組も多く、来訪者誘因の観点で情報バラエティ番組のメリットである即効性は見られなかった。一方で、事業者への放送に関する電話やSNSなどでの反響は大きく、宣伝効果としては絶大だった。
メディア報道回数/年	合計 8 件 /年(情報発信支援を行ったもの) NHKBS「雪国」/BS よしもと「開運自転車の旅」 TUF「居酒屋新幹線」/テレビ朝日「Qさま!!」/ 日本テレビ「遠くへ行きたい」/ 東日本放送突撃ナマイキ TV/なにわ男子 YouTube/ テレビ東京「バス VS 鉄道旅」
メディア報道広告効果/年	166,033,260 円 /年
SNS・WEB発信回数/年	ホームページ:ロケツアーリズム 14 件、観光ノート 11 件 Twitter:ロケツアーリズム 116 件、観光ノート 13 件 Instagram:ロケツアーリズム 16 件
SNS・WEBリーチ人数/年	ロケツアーリズム Instagram:307 名 ロケツアーリズム Twitter:781 名 観光ノート Twitter:559 名
来場者・購入者・申込者総数/年	ロケ支援希望応募事業者:5 社/年 エキストラ希望応募者:24 名/年
地域への波及効果(額)	合計効果 166,033,260 円 間接効果 0 円 直接効果 166,033,260 円
地域への波及効果換算額に対するROI 波及効果産出額÷(投資額+人件費)	ROI 45.78 $166,033,260 \text{ 円} \div 3,626,050 \text{ 円}(1,500,000 \text{ 円} + 2,126,050 \text{ 円}) = 45.78$
特記事項	福島で放送されないロケ番組は波及効果の即効性がなく、宣伝効果はあれど来訪につながる持続性がどれほどなのかの効果測定方法が現状はないため、次年度以降の課題となった。

事業名称	【業務委託⑧】看板事業創出事業 (令和4年4月1日～令和5年3月31日)
報告担当者	三宅 晃司
事業内容	ふくしま RISE からの業務委託を通じた地域で看板となりうる観光コンテンツやモデルコースの造成など
事業目的	ふくしま RISE が採択を受けた観光庁「地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業」において、ふくしま RISE からの業務委託者として、観光コンテンツやツアーの創出を行う。
事業目標(KPI)	ふくしま RISE の事業目標に準ずる。
事業協力体制 (主催・共催・協賛・後援)	主催:ふくしま RISE 業務受託者:福島市観光コンベンション協会、マイティ千葉重(WEB関連)
売上/年	0 円
費用/年	4,994,636 円
売上総利益/年	230,364 円
公益事業補助金投入額/年	5,225,000 円(委託金額)
協会自主財源投入額/年	0 円
事務局員対応延べ人数/年	1 人/年(300,000 円)

協会収益ROI 売上総利益÷(投資額+人件費)	0.04 230,364 円÷5,294,636 円(4,994,636 円+300,000 円)=0.04
経済波及効果を受けた事業者数/年	関連事業者 14 社
地域への波及効果内容	新たなフルーツコンテンツの開発 新たな旅館ランチメニューの開発 新たなタクシープランの開発 等
メディア報道回数/年	2 回/年
メディア報道広告効果/年	福島放送(特 B・150 秒) 1,600,000 円 福島民友(10cm×4 段) 880,000 円 合計:2,480,000 円
SNS・WEB発信回数/年	1 回/年
SNS・WEBリーチ人数/年	—
来場者・購入者・申込者総数/年	約 100 名
地域への波及効果(額)	合計 7,705,000 円
地域への波及効果換算額に対するROI 波及効果産出額÷(投資額+人件費)	ROI 1.45 7,705,000 円÷5,294,636 円(4,994,636 円+300,000 円)=1.45
特記事項	特になし

4-3 当会傘下団体「福島バリアフリーツアーセンター」受託業務

事業名称	【業務委託⑨】ユニバーサルデザインのまちづくり事業 (令和4年4月1日～令和5年3月31日)
報告担当者	佐藤 由香利
事業内容	福島市バリアフリーマップ調査・更新事業
事業目的	①施設のバリアフリー情報不足の課題解消 ②外出の際の不安解消による観光誘客 ③心のバリアフリーの普及推進
事業目標(KPI)	①施設直接調査:20 件 達成率 100% ②(新規)施設より情報提供による掲載:20 件 達成率 100%
事業協力体制(主催・共催・協賛・後援)	主催:福島市(交通政策課) 共催:バリアフリーツアーセンター(当会傘下団体) 共同開発:オーダーメイドジャパン
売上/年	0 円
費用/年	838,975 円
売上総利益/年	1,161,025 円
公益事業補助金投入額/年	2,000,000 円
協会自主財源投入額/年	0 円
事務局員対応延べ人数/年	2 名:(902,400 円)
協会収益ROI 売上総利益÷(投資額+人件費)	0.67 1,161,025 円÷1,741,375 円(投資額 838,975 円+人件費 902,400 円)=0.67
経済波及効果を受けた事業者数/年	地域WEBサイト制作会社:2 社 建築設計事務所:2 社 調査協力団体:2 団体
地域への波及効果内容	合計:838,975 円 合計 40 施設掲載(観光商業 4、宿泊 4、公園 5、果樹園 6・トイレ 1、支所・学習センター13、いちい 6 店舗)
メディア報道回数/年	—

メディア報道広告効果/年	-
SNS・WEB発信回数/年	SNS:4回 YouTube:2回 観光ノート:2回
SNS・WEBリーチ人数/年	合計: 213,248円 SNSPV: 37,248円 WEBPV:176,000円
来場者・購入者・申込者総数/年	-
地域への波及効果(額)	合計 1,052,223円 直接効果:838,975円 間接効果:213,248円
地域への波及効果換算額に対するROI 波及効果産出額÷(投資額+人件費)	ROI 0.60 1,052,223円÷1,741,375円(投資額838,975円+人件費902,400円)=0.60
特記事項	東北運輸局移動等円滑化評価会議東北分科会で報告した資料「ふくしまバリアフリーツアーセンターの取組」が好事例の取組として国土交通本省で開催予定の移動等円滑化評価会議の資料で紹介される予定。

事業名称	【業務委託⑩】心のバリアフリー推進事業 (令和4年4月1日～令和5年3月31日)
報告担当者	佐藤 由香利
事業内容	心のバリアフリー普及事業
事業目的	①施設のバリアフリー情報不足の課題解消 ②外出の際の不安解消による観光誘客 ③心のバリアフリーの普及推進
事業目標(KPI)	①市購入冊数:3,300冊 達成率97% ②出前講座回数:2件 達成率40%
事業協力体制 (主催・共催・協賛・後援)	主催:福島市(共生社会推進課) 共催:バリアフリーツアーセンター(当会傘下団体) 共同開発:(株)MARS
売上/年	0円
費用/年	1,314,500円
売上総利益/年	0円
公益事業補助金投入額/年	907,500円
協会自主財源投入額/年	0円(バリアフリー財源投入額407,000円)
事務局員対応延べ人数/年	1名:(192,000円)
協会収益ROI 売上総利益÷(投資額+人件費)	0 0円÷1,506,500円(投資額1,314,500円+人件費192,000円)=0
経済波及効果を受けた事業者数/年	地域広告会社:1社
地域への波及効果内容	合計:1,314,500円
メディア報道回数/年	-
メディア報道広告効果/年	-
SNS・WEB発信回数/年	SNS:4回 観光ノート:4回
SNS・WEBリーチ人数/年	合計: 113,334円 SNSPV: 3,734円

	WEBPV:109,600 円
来場者・購入者・申込者総数 ／年	—
地域への波及効果(額)	合計:1,427,834 円 直接効果:1,314,500 円 間接効果: 113,334 円
地域への波及効果換算額に 対するROI 波及効果産出額÷(投資額 +人件費)	ROI 0.95 1,427,834 円÷1,506,500 円(投資額 1,314,500 円+人件費 192,000 円)=0.95
特記事項	小学生版「心のバリアフリーってなあに？」の冊子に視覚障がい者用の音声コード作成の依頼を受けたが、小さなお子様など、より多くの方に普及するため、自主財源でアニメーション動画を制作した。

5 補助事業（国・県・市・その他組織から補助金を受けて実施した事業）

5-1 国補助事業

事業名称	地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業 (令和4年4月1日～令和5年3月31日)
報告担当者	高橋 康
事業内容	観光庁補助事業「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化」 を活用した市内温泉地の宿泊施設等改修支援
事業目的	コロナ終息後に地域間競争の激化が予想されている観光産業において、市 内温泉地が「地域」として魅力向上することで、お客様から選ばれるものとな るよう、観光庁補助事業を活用して高付加価値化改修等を行う。
事業目標(KPI)	目標 15 施設(3 温泉地がそれぞれ 5 施設) 実績 12 施設 達成率 80%
事業協力体制 (主催・共催・協賛・後援)	主催:福島市観光コンベンション協会 協力:福島市、飯坂温泉観光協会、土湯温泉観光協会、高湯温泉観光協会
売上／年	0 円
費用／年	0 円
売上総利益／年	0 円
公益事業補助金投入額／年	0 円
協会自主財源投入額／年	105,000 円(説明会会場費、通信費など)
事務局員対応延べ人数／年	2 名:951,000 円(552,000 円+399,000 円)
協会収益ROI 売上総利益÷(投資額+人件 費)	ROI=0 0 円÷1,056,000 円(投資額 105,000 円+人件費 951,000 円)=0
経済波及効果を受けた事業 者数／年	12 事業者 地区 飯坂温泉エリア 8 社、土湯温泉エリア 4 社 (業種内訳 宿泊施設 5、飲食店 5、小売店 1、観光施設 1)
地域への波及効果内容	観光庁から事業者への補助金総額:155,331,395 円 当事業の補助率は 1/2 または 2/3 であり、参加した事業者は総工事費の 半分以上の補助を活用して改修することができた。
メディア報道回数／年	—
メディア報道広告効果／年	—

SNS・WEB発信回数／年	－
SNS・WEBリーチ人数／年	－
来場者・購入者・申込者総数／年	－
地域への波及効果(額)	合計効果 213,981,395 円 直接効果 155,331,395 円 間接効果 58,650,000 円
地域への波及効果換算額に対するROI 波及効果産出額÷(投資額+人件費)	ROI 202.63 213,981,395 円÷1,056,000 円 (投資額 105,000 円+人件費 951,000 円)=202.63
特記事項	第1期で申請・採択されたため、工期が長期に及ぶ大規模改修を行ったが宿泊施設等にも極力、繁忙期を避けて作業していただくことができた。(県内で第1期採択は当会のみ)

5-2 県補助事業

※ワクチン集団職域接種事業は、補助割合が低い(約 3 割)ことから自主事業(6-3-1)で実績報告を行う。

5-3 市補助事業(継続事業/確実な執行を義務づけられている業務)

	事業名	事業概要	成果・課題
1	ガイドマップ等作成事業	プロモーション活動や花見山来訪者に対する紹介を目的としたパンフレット類の作成	実施
2	旅行エージェント等 tie-up 事業	福島駅発車メロディーを古関メロディーにするための JASRAC 利用料	実施
3	コンベンション誘致事業	国際 MICE エキスポ(IME)、東北地区MICE商談会への参加旅費	実施

5-4 市補助事業(先駆的事業/当会の戦略に基づき先行展開を行う事業)

5-4-1 外貨獲得事業戦略

5-4-1-1 仮想と現実のマーケティングの融合による誘客促進

事業名称	自社記事発信型WEBサイトの更なる機能強化 (令和4年4月1日～令和5年3月31日)
報告担当者	ガール 真紀
事業内容	(オウンドメディア)自社記事発信型WEBサイトの更なる機能強化 (アードメディア)SNSの更なる機能強化
事業目的	急速なデジタル化移行に伴い変容する消費者マインドを的確に捉え、市内事業者やプロジェクトと消費者を的確にマッチング(繋げる)ための方策(Online Merges withOffline)を講じる。特に、これまでバラバラの展開をしてきた観光案内所と各種デジタルツールの運用を戦略的に統合し、相互を行き来させながら、顧客を实际消費に繋げて行く。キーワードとしては、女性マーケットとパーソナマーケットに徹底的にこだわった戦術を講じる。
事業目標(KPI)	(オウンドメディア)自社記事発信型WEBサイトの更なる機能強化 ①KPI PV:150%UP(2019 年比) 成果 122% ②KPI UU:150%UP(2019 年比) 成果 164% ③KPI P/UP 事業者サイトへの平均 CVR:5% 成果 測定不能 (アードメディア)SNSの更なる機能強化/KPI ①KPI平均視聴回数 500 回 成果 1投稿当りのインプレッション facebook974 回、Instagram2,955 回、Twitter2,074 回

	②KPI平均再生時間 60 秒 成果 - ③KPIチャンネル登録者数 5000 人/年 成果 フォロワー数 facebook4,025 人、Instagram4,318 人、 Twitter5,622 人 Youtube434 人 ④KPI高評価数 3000 人/年 成果 リアクション facebook12,893、Instagram17,895、Twitter3,460 ⑤KPIブラウジング機能からの流入割合 5% 成果 - ⑥KPI表示ページへの平均移動割合 10% 成果 -
事業協力体制 (主催・共催・協賛・後援)	主催: 当会 委託: 株式会社 SML 協力: 有限会社マインドファクトリー
売上/年	0 円
費用/年	5,286,210 円
売上総利益/年	0 円
公益事業補助金投入額/年	5,157,600 円
協会自主財源投入額/年	128,610 円
事務局員対応延べ人数/年	1 人(2,001,000 円)
協会収益ROI 売上総利益÷(投資額+人件費)	ROI 0 $0 \div 7,287,210 \text{ 円} (\text{投資額 } 5,286,210 \text{ 円} + \text{人件費 } 2,001,000 \text{ 円}) = 0$
経済波及効果を受けた事業者数/年	延べ事業者(観光スポット 75、温泉宿泊 32、グルメ・お土産 246、ふるさと納税 53、イベント 223)
地域への波及効果内容	0 円
メディア報道回数/年	0 回
メディア報道広告効果/年	0 円
SNS・WEB発信回数/年	Facebook251回、Instagram109回、Twitter492回、HP603回更新
SNS・WEBリーチ人数/年	Facebook230,349回、Instagram262,937回、Twitter937,815人 Youtube61,528回再生、HP 3,059,344PV
来場者・購入者・申込者総数/年	なし
地域への波及効果(額)	・合計効果 16,508,488 円 ・直接効果 3,757,210 円 ・間接効果 12,751,278 円
地域への波及効果換算額に対するROI 波及効果産出額÷(投資額+人件費)	ROI 2.26 $16,508,488 \div 7,287,210 \text{ 円}$ $(\text{投資額 } 5,286,210 \text{ 円} + \text{人件費 } 2,001,000 \text{ 円}) = 2.26$
特記事項	・ユーザビリティ向上を意識し、観光ノートのページ設計を見直した。 ・フルーツホリデイ特設サイト立ち上げた。 ・マスコミ向けの1次情報源として、当会企画事業の発信を積極的に行った。 ・地震や気象現象に伴う緊急時の情報発信を即座に行った。 ・案内所(現実)とSNS(仮想)のニーズに合わせた情報を発信した。

事業名称	人対人による交流接点の更なる強化(観光案内所) (令和4年4月1日～令和5年3月31日)
報告担当者	柳沼 亜希
事業内容	人対人(リアルメディア)による交流拠点・米国デンバースタイルによるハイタッチ型おもてなし案内
事業目的	①市民と共に作るおもてなし交流 ②徹底した対面案内によるハイタッチ型の接点づくり ③福島の魅力発信による関係人口の拡大

	<p>④来訪者回遊による経済波及効果の拡大 ⑤ふるさと納税や移住への誘引</p>
事業目標(KPI)	<p>①来訪者数 ・目標:18,000人/年 ・成果:27,093人 ・達成率:150%</p> <p>②レコメンドサイトによる評価 a.トリップアドバイザー ・目標:評価5 ・成果:評価3.5 ・達成率:70%</p> <p>b.じゃらんnet ・目標:評価5 ・成果:評価3.9 ・達成率:78%</p> <p>C.Google マイビジネス ・目標:評価5 ・成果:評価4.4 ・達成率:88%</p> <p>③キャンペーンスタンプラリー台紙配布・案内 a.ピーチホリディスタンプラリー ・目標:500枚 ・成果:880枚 ・達成率:176%</p> <p>b.アップルホリディスタンプラリー ・目標:800枚 ・成果:1653枚 ・達成率:206%</p> <p>④デジタルサイネージ掲載数 a.市内イベント ・目標:150件 ・成果:184件 ・達成率:123%</p> <p>b.圏域11市町村 ・目標:20件 ・成果:26件 ・達成率:130%</p> <p>c.ふるさと納税 ・目標:10件 ・成果:9件 ・達成率:90%</p> <p>d.ピーチホリデイPR ・目標:10件 ・成果:6件(内動画1件) ・達成率:60%</p> <p>e.アップルホリデイPR ・目標:10件 ・成果:3件(内動画1件) ・達成率:30%</p> <p>f.方言クイズ ・目標:100件 ・成果:310件 ・達成率:310%</p> <p>g.温泉クイズ ・目標:100件 ・成果:49件 ・達成率:49%</p> <p>定性目標 地域の情報や魅力を紹介し、ファンづくりを行い 関係人口拡大に努める。市内回遊に繋げることで経済波及効果を図る</p>
事業協力体制 (主催・共催・協賛・後援)	<p>・主催:当会 ・協賛:地元クリエイター2社 ・協力:福島市、多言語市民コンシェルジュ、市民コンシェルジュ・ジュニア</p>
売上/年	8,600円
費用/年	0円
売上総利益/年	8,600円
公益事業補助金投入額/年	0円
協会自主財源投入額/年	0円
事務局員対応延べ人数/年	・職員3名 パート職員2名(4,780,279円)
協会収益ROI 売上総利益÷(投資額+人件費)	<p>ROI=0.001 8,600円÷4,780,279円(投資額0円+人件費4,780,279円)=0.001</p>
経済波及効果を受けた事業者数/年	<p>・地元クリエイター2社 ・地元企画会社1社 ・ワークショップ事業者:3社 ・案内による観光施設、宿泊施設、飲食店、販売店、キャンペーン参加事業者</p>
地域への波及効果内容	<p>来訪者市内観光PR 27,093人 電話による観光PR 3,720件 キャンペーンによる市内回遊促進 ふるさと納税案内カウンター設置(年末)による寄付申込(4件)</p>
メディア報道回数/年	・新聞 11回

	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインメディア 1回 ・メディア 4回
メディア報道広告効果/年	<ul style="list-style-type: none"> ・合計:15,224,000円 ・新聞:10,319,500円 ・オンラインメディア:324,500円 ・メディア:4,580,000円
SNS・WEB発信回数/年	<ul style="list-style-type: none"> 福島市観光ノート:23回 SNS:60回 Google マイビジネス:13回
SNS・WEBリーチ人数/年	<ul style="list-style-type: none"> 福島市観光ノート ・リーチ:132,218人 SNS ・リーチ:111,118人 ・アクション:5,994回 Google マイビジネス ・リーチ:4,972人
来場者・購入者・申込者総数/年	来訪者数:27,093人
地域への波及効果(額)	<ul style="list-style-type: none"> ・合計効果:44,008,598円 ・直接効果:97,400円(ワークショップ事業者売上) ・間接効果:43,911,198円
地域への波及効果換算額に対するROI 波及効果産出額÷(投資額+人件費)	<p>ROI 9.20</p> <p>44,008,598円÷4,780,279円(事業費0円+人件費4,780,279円)=9.20</p>
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・福島県沖地震の影響による立ち入り制限の実施(4月~8月4日) ・10月11日より入国制限撤廃に伴い、訪日客の回復が見られる。 【ピーチホリデー・ワークショップ】 <ul style="list-style-type: none"> ・桃の剪定枝を使ったペンダントづくり 参加者 25名 (8月13日、27日、9月17日) ・ひょうろ桃を使ったピーチティ作り 参加者 8名 (9月10日) 【アップルホリデー・ワークショップ】 <ul style="list-style-type: none"> ・ひょうろりんごのオーナメントづくり 参加者 3名 (12月10日、17日、24日) 【展示】 <ul style="list-style-type: none"> ・初優勝(3月場所)若隆景関のパネル、錦絵展示 (4月12日~5月22日) ・福島市ロケツーリズム推進会議連携によるロケ地紹介 パネル設置及びロケ地カード配布店舗SNS投稿キャンペーン (2月1日~)

<観光案内所関連5事業>

事業名称	①多言語市民コンシェルジュ事業 (令和4年4月1日~令和5年3月31日)	
報告担当者	柳沼 亜希	
事業内容	様々な言語を得意とする市民コンシェルジュと共にハイタッチ型の「ふくしま」ファンづくり	
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ①対面案内によるハイタッチ型のファンづくり ②福島の魅力発信による関係人口の拡大 ③来訪者回遊による地域経済波及効果の拡大 ④未来の観光人材育成 ⑤訪日外国人への対応 	
事業目標(KPI)	<ul style="list-style-type: none"> 1.1 定量目標 ・来訪者:18,000人 1.2 定量成果 ・来訪者:27,093人 1.3 目標達成率・来訪者:150% 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人対応:250人 ・外国人対応:485人 ・外国人対応:194%

	2.1 定性目標 地域の情報や魅力を案内し、ファンづくりを図る。 回遊に繋げることで地域経済波及効果を図る。
事業協力体制 (主催・共催・協賛・後援)	・主催: 当会 ・協賛: 多種多様なキャリアを持つ市民の参画 (講師、ライター、育児世代、引退世代、学生)
売上/年	0円
費用/年	3,366,147円
売上総利益/年	0円
公益事業補助金投入額/年	3,330,000円
協会自主財源投入額/年	36,147円
事務局員対応延べ人数/年	・市民コンシェルジュ 11名 ・コンシェルジュ・ジュニア 2名 ・繁忙期: 1日3名×3h 3交代 ・閑散期: 1日1~2名×3h 1~2交代
協会収益ROI 売上総利益÷(投資額+人件費)	ROI=0 0円÷3,366,147円(投資額/人件費 3,366,147円)=0
経済波及効果を受けた事業者数/年	-
地域への波及効果内容	案内を通じて地域内の各施設(観光施設、宿泊施設、飲食店、販売店、キャンペーン参加事業者)に送客した。
メディア報道回数/年	・新聞 1回 ・オンラインメディア 29回(PR TIMES 転載 29件) ・メディア 1回
メディア報道広告効果/年	4,251,700円(新聞:1,496,000円、オンラインメディア:1,955,700円、メディア:800,000円)
SNS・WEB発信回数/年	福島市観光ノート:1回、SNS:2回
SNS・WEBリーチ人数/年	福島市観光ノート ・リーチ:254人 SNS ・リーチ:1,537人 ・アクション:55回
来場者・購入者・申込者総数/年	来訪者数:27,093人
地域への波及効果(額)	・合計効果:9,514,357円 ・直接効果:3,366,147円 ・間接効果:6,148,210円(来訪者 27,093名に対する波及効果も含む)
地域への波及効果換算額に対するROI 波及効果産出額÷(投資額+人件費)	ROI 2.82 9,514,357円÷3,366,147円(投資額/人件費 3,366,147円)=2.81
特記事項	・未来の観光人材育成インターンプロジェクト(有償型)、市民コンシェルジュ・ジュニア始動(5月~)

事業名称	②観光案内所物販事業 (令和4年4月1日~令和5年3月31日)
報告担当者	柳沼 亜希
事業内容	福島市観光PRキャラクター「ももりん」グッズ及び福島市内・圏域事業者の商品販売
事業目的	①福島のおすすめ商品の販売 ②店舗を持たない事業者の販路拡大 ③商品の試験販売 ④商品のファン・リピーターづくり

事業目標(KPI)	①委託販売事業:406,609円(前年度比104%) ②ももりんグッズ販売事業:950,705円(前年度比140%) ③参画事業者:15社(前年度比115%)
事業協力体制 (主催・共催・協賛・後援)	・主催 当会
売上/年	1,357,314円
費用/年	495,646円
売上総利益/年	861,668円
公益事業補助金投入額/年	0円
協会自主財源投入額/年	0円
事務局員対応延べ人数/年	・職員3名 パート職員2名 149,613円
協会収益ROI 売上総利益÷(投資額+人件費)	ROI=1.34 861,668円÷645,259円(投資額495,646円+人件費149,613円)=1.34
経済波及効果を受けた事業者数/年	・農家果樹園:1社 ・こけし工人:3社 ・地元新聞社:1社 ・地元印刷会社:3社 ・販売事業者:6社 ・その他団体:1団体
地域への波及効果内容	495,646円(仕入費)
メディア報道回数/年	・新聞 2回 ・オンラインメディア 0回 ・メディア 0回
メディア報道広告効果/年	・合計:2,167,000円 ・新聞:2,167,000円 ・オンラインメディア:0円 ・メディア:0円
SNS・WEB発信回数/年	福島市観光ノート:3回、 SNS:7回
SNS・WEBリーチ人数/年	福島市観光ノート ・リーチ:4,165人 SNS ・リーチ:8,087人 ・アクション:739回 Google マイビジネス ・リーチ:433人
来場者・購入者・申込者総数/年	来訪者数:27,093人(購入件数:1,137件)
地域への波及効果(額)	・合計効果:4,559,156円 ・直接効果:495,646円(仕入費) ・間接効果:4,063,510円(来訪者27,093名に対する波及効果も含む)
地域への波及効果換算額に対するROI 波及効果産出額÷(投資額+人件費)	ROI 7.06 4,559,156円÷645,259円(投資額495,646円+人件費149,613円)=7.06
特記事項	

事業名称	③観光案内所斡旋事業 (令和4年4月1日～令和5年3月31日)
報告担当者	横山 佳代
事業内容	①斡旋契約を結んでいる福島市内3つの温泉地(飯坂・土湯・高湯)及びビジネスホテル、二本松市岳温泉への宿泊斡旋 ②斡旋契約を結んでいる大和自動車交通株式会社及び福島貸切辰巳屋自動車へのタクシー斡旋

事業目的	<p>①来訪者と事業者の間に入って予約を取り持つことによって来訪者の手間を省き、現地滞在時間が長い宿泊を伴う旅行を選択してもらうことで経済波及効果の増加を図る</p> <p>②接客を通じて観光の目的を明確にし、アドバイスが行える</p> <p>③来訪者の要望に沿った案内や事業者を紹介できる</p> <p>④斡旋契約を結ぶ事業者の収益を図る</p> <p>⑤斡旋手数料(1割)を得ることで、当会の収益となる</p>
事業目標(KPI)	<p>1.1 定量目標</p> <p>①宿泊斡旋:60件(5件/1ヶ月)</p> <p>②タクシー斡旋:24件(2件/1ヶ月)</p> <p>1.2 定量成果</p> <p>①宿泊斡旋:99件</p> <p>②タクシー斡旋:35件</p> <p>1.3 目標達成率</p> <p>①宿泊斡旋:165%</p> <p>②タクシー斡旋:145%</p> <p>2.1 定性目標</p> <p>①地域の魅力PRに努め、宿泊客を増やすことにより経済波及効果の増加を図る</p> <p>②地域におけるタクシーを利用した二次交通の利用促進を図る</p>
事業協力体制 (主催・共催・協賛・後援)	<p>・主催 当会</p> <p>・協力 福島市内宿泊施設及び二本松市内宿泊施設、 大和自動車交通株式会社、福島貸切辰巳屋自動車株式会社</p>
売上/年	241,128 円
費用/年	0 円
売上総利益/年	241,128 円
公益事業補助金投入額/年	0 円
協会自主財源投入額/年	0 円
事務局員対応延べ人数/年	<p>・職員 3 名 パート職員 2 名</p> <p>149,073 円</p>
協会収益ROI 売上総利益÷(投資額+人件費)	<p>ROI 1.61</p> <p>241,128 円÷149,073 円(投資額 0 円+人件費 149,073 円)=1.61</p>
経済波及効果を受けた事業者数/年	<p>・福島市ビジネスホテル:12 社</p> <p>・飯坂温泉宿泊施設:13 社</p> <p>・土湯温泉宿泊施設:11 社</p> <p>・高湯温泉宿泊施設:4 社</p> <p>・二本松市 岳温泉宿泊施設:3 社</p> <p>・福島市内タクシー事業者:2 社</p>
地域への波及効果内容	事業者への波及効果 2,170,152 円
メディア報道回数/年	0 回
メディア報道広告効果/年	0 回
SNS・WEB発信回数/年	福島市観光ノート:3 回 SNS:3 回
SNS・WEBリーチ人数/年	<p>福島市観光ノート リーチ数:41,851 人</p> <p>SNS:リーチ数:5,012 人 アクション数:1,291 回</p>
来場者・購入者・申込者総数/年	宿泊利用者:147 人、利用台数:35 台
地域への波及効果(額)	<p>・合計効果:10,543,328 円</p> <p>・直接効果:2,137,284 円</p> <p>・間接効果:8,406,044 円</p>
地域への波及効果換算額に対するROI	<p>ROI 70.7</p> <p>10,543,328 円÷149,073 円(投資額 0 円+人件費 149,073 円)</p>

波及効果産出額÷(投資額 +人件費)	=70.7
特記事項	

事業名称	④観光案内所その他収益事業 (令和4年4月1日～令和5年3月31日)
報告担当者	松本 幸枝
事業内容	①ふくしまエールビジョンを使用した大相撲パブリックビューイング ②ふくしまエールビジョンを使用した夏の全国高校野球選手権大会準決勝パブリックビューイング ③首都圏等消費者交流オンラインツアーにて福島市の観光案内 ④「温泉ソムリエ」有資格スタッフによる飯坂、土湯、高湯温泉の泉質や効能、入浴法穂などについての講座 ⑤ももりん及びブラックももりん着ぐるみ貸出 ⑥ももりんキャラクター使用に係る使用料
事業目的	①史上初の同時関取を目指す郷土力士「大波三兄弟」を市民と共に応援する ②聖光学院高校が史上初の4強進出を果たし、仙台育英高校と東北対決となった準決勝を放映し応援する ③首都圏の消費者向けに福島県産品の風評払拭することを目的としたオンラインツアーで観光スポットやご当地グルメを紹介し、リアルへの誘客を図る ④福島市民が地元の名湯に理解を深め、愛着心を育むと共に回遊を促す ⑤福島市観光PRキャラクター「ももりん」と「ブラックももりん」を観光PRや広報、イベントなどで活用してもらい誘客や販売促進を図る
事業目標(KPI)	1.1 定量目標 ①大相撲中継切替:15日×6場所(エールビジョン) ②高校野球中継切替:1日×1回(エールビジョン) ③首都圏等消費者交流事業(オンラインツアー):20分出演×3回 ④飯坂・土湯・高湯温泉の楽しみ方講座:90分講義×1回 ⑤ももりん着ぐるみ貸出事業:50件 ⑥ももりんキャラクター使用料:30,000円 1.2 定量成果 ①大相撲中継切替:15日×6場所(エールビジョン) ②高校野球中継切替:1日×1回(エールビジョン) ③首都圏等消費者交流事業(オンラインツアー):20分出演×3回 ④飯坂・土湯・高湯温泉の楽しみ方講座:90分講義×1回 ⑤ももりん着ぐるみ貸出事業:48件(ブラックももりん7件含む) ⑥ももりんキャラクター使用料:33,110円 1.3 目標達成率 ①～④100% ⑤96% ⑥110%
事業協力体制 (主催・共催・協賛・後援)	①大相撲中継切替 ・主催 株式会社ぶらっとWEB放送 ・協力 当会 ②高校野球中継切替 ・主催 株式会社ぶらっとWEB放送 ・協力 当会 ③首都圏等消費者交流事業(オンラインツアー) ・主催 福島県 ・協力 当会 ④飯坂・土湯・高湯温泉の楽しみ方講座 ・主催 福島市アクティブシニアセンターアオウゼ ・協力 当会 ⑤ももりん着ぐるみ貸出事業 ・主催 福島市

	<ul style="list-style-type: none"> ・協力 当会 ⑥ももりんキャラクター使用料 ・主催 当会
売上／年	549,784 円
費用／年	224,814 円
売上総利益／年	324,970 円
公益事業補助金投入額／年	0 円
協会自主財源投入額／年	0 円
事務局員対応延べ人数／年	<ul style="list-style-type: none"> ・職員 3 名 パート職員 2 名 121,607 円
協会収益ROI 売上総利益÷(投資額+人件費)	ROI=0.93 $324,970 \text{ 円} \div 346,421 \text{ 円(投資額 224,814 円+人件費 121,607 円)}$ =0.93
経済波及効果を受けた事業者数／年	<ul style="list-style-type: none"> ・印刷会社 2 社 ・販売事業者 3 社 (ももりんキャラクター使用料)
地域への波及効果内容	-
メディア報道回数／年	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞 13 回(大相撲) ・オンラインメディア 8 回(大相撲)
メディア報道広告効果／年	<ul style="list-style-type: none"> ・合計:9,318,000 円(大相撲) ・新聞:7,798,000 円(大相撲) ・オンラインメディア:1,520,000 円(大相撲)
SNS・WEB発信回数／年	福島市観光ノート:1 回(温泉の楽しみ方講座) SNS:2 回(温泉の楽しみ方講座)
SNS・WEBリーチ人数／年	福島市観光ノート ・リーチ:288 人 SNS ・リーチ:1,958 人 ・アクション:113 回
来場者・購入者・申込者総数／年	温泉の楽しみ方講座 ・来場者 40 名
地域への波及効果(額)	<ul style="list-style-type: none"> ・合計効果:9,381,776 円 ・直接効果:0 円 ・間接効果:9,381,776 円
地域への波及効果換算額に対するROI 波及効果産出額÷(投資額+人件費)	ROI 27.08 $9,381,776 \text{ 円} \div 346,421 \text{ 円(投資額 0 円+人件費 346,421 円)}$ =27.08
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ◆大相撲パブリックビューイング ・五月場所:5 月 8 日~5 月 22 日 ・七月場所:7 月 10 日~7 月 24 日 ・九月場所:9 月 11 日~9 月 25 日 ・十一月場所:11 月 13 日~11 月 27 日 ・一月場所:1 月 8 日~1 月 22 日 ・三月場所:3 月 12 日~3 月 26 日 ◆夏の全国高校野球選手権大会パブリックビューイング ・仙台育英 vs 聖光学院(準決勝):8 月 20 日 ◆首都圏等消費者交流事業(オンラインツアー) コース名:ふくしまのももコース 開催日:7 月 23 日、7 月 30 日、8 月 20 日(全 3 回) 参加者数:各回 25 名 ◆飯坂・土湯・高湯温泉の楽しみ方講座 開催日:1 月 27 日 参加者数:40 名

<p>◆ももりん着ぐるみ貸出 ももりん貸出件数:41件(有料:15件/無料:26件) ブラックももりん貸出件数(有料:2件/無料:5件) ※無料は福島市貸出件数 ◆ももりんキャラクター使用料申請件数:5件</p>
--

事業名称	⑤福島市周遊スポット魅力アップ支援事業 (令和4年10月1日～令和5年3月31日)
報告担当者	高橋 康
事業内容	福島市補助金「周遊スポット魅力アップ支援事業」を活用した観光案内所の改装、及び装飾物の充実
事業目的	観光案内所の改修を図ることで、お客様により快適な案内空間での情報提供を行い福島市のプレファレンス向上を図る。
事業目標(KPI)	定量目標 ・設定なし 定性目標 ・来訪者により快適な案内空間を提供する
事業協力体制 (主催・共催・協賛・後援)	主催:福島市観光コンベンション協会 支援:福島市
売上/年	0円
費用/年	1,395,700円
売上総利益/年	0円
公益事業補助金投入額/年	692,350円
協会自主財源投入額/年	703,350円
事務局員対応延べ人数/年	2名 159,600円
協会収益ROI	ROI=0
売上総利益÷(投資額+人件費)	0円÷1,555,100円(投資額1,395,500円+人件費159,600円)=0
経済波及効果を受けた事業者数/年	5社 ・デザイン、看板製作、NET回線など
地域への波及効果内容	1,395,500円
メディア報道回数/年	-
メディア報道広告効果/年	-
SNS・WEB発信回数/年	-
SNS・WEBリーチ人数/年	-
来場者・購入者・申込者総数/年	-
地域への波及効果(額)	合計効果 1,395,500円 直接効果 1,395,500円 間接効果 0円
地域への波及効果換算額に対するROI 波及効果産出額÷(投資額+人件費)	ROI 0.89 1,395,500円÷1,555,100円(事業費1,395,500円+人件費159,600円)=0.89
特記事項	この支援により実施したのは下記の通り。 ・床絨毯やロールスクリーン、立て看板や壁掛け看板の新調 ・ネット回線の切り替え(ADSL→光回線) ・故障していた蛍光灯の修理 ・2023年春観光に向けた装飾物の充実

事業執行に必要な活動(ROI対象外)			
	実施月日	事業名	事業概要
1	4月～3月	SNS利用者による当地コメント発信状態の調査	SNS上の口コミなどの分析から競合との比較、炎上対策、複数SNSでの投稿管理を行いながら、当市への来訪意欲を向上させる。

5-4-1-2 女性来訪者の満足度や消費額を上げるための体験商品づくり・販売促進

事業名称	持続可能な社会向けコンテンツ【土湯・高湯】 (令和4年4月1日～令和5年3月31日)
報告担当者	大野 直樹/三宅 晃司
事業内容	コペンハーゲンモデル型コンテンツ造成実証事業
事業目的	①有形無形の素材による生活や文化に根差した体験プログラムづくり支援 ②女性視点マーケティングを重視した体験プログラムづくり支援③効率的な体験プログラム運用の仕組みづくり支援④プロモーション手法、効果検証手法、検証結果を踏まえた改善手法の定着支援
事業目標(KPI)	①開発コンテンツ数:10件 成果4件 達成率40% ②消費効果:6,000千円 成果2,803千円 達成率46%
事業協力体制 (主催・共催・協賛・後援)	主催:福島市観光コンベンション協会
売上/年	0円
費用/年	963,703円
売上総利益/年	0円
公益事業補助金投入額/年	960,000円
協会自主財源投入額/年	3,703円
事務局員対応延べ人数/年	2名
協会収益ROI 売上総利益÷(投資額+人件費)	ROI 0 $0 \div 1,563,703 \text{円} (\text{投資額 } 963,703 \text{円} + \text{人件費 } 600,000 \text{円}) = 0$
経済波及効果を受けた事業者数/年	3社
地域への波及効果内容	・メディア露出による該当エリアの認知度向上 ・地場産品の地域内循環 ・域内ロールモデル(コペンハーゲン型コンテンツ)の確立 ・宿泊施設主導としたコンテンツ造成意識の醸成
メディア報道回数/年	県内テレビ1社/県内新聞社2社
メディア報道広告効果/年	1,840,000円
SNS・WEB発信回数/年	2回
SNS・WEBリーチ人数/年	8,731人
来場者・購入者・申込者総数/年	94人/年
地域への波及効果(額)	・合計効果:2,803,703円 ・直接効果:963,703円 ・間接効果:1,840,000円
地域への波及効果換算額に対するROI 波及効果産出額÷(投資額+人件費)	ROI 1.79 $2,803,703 \text{円} \div 1,563,703 \text{円} (\text{投資額 } 963,703 \text{円} + \text{人件費 } 600,000 \text{円}) = 1.79$
特記事項	

5-4-1-3 来訪者が循環する仕組みづくり

事業名称	「ちょうど良い旅、ふくしまステイ。」ブランディングプロモーション (令和4年7月20日～12月31日)
報告担当者	高橋 康
事業内容	福島市が2021年に発表したブランド「ちょうどいい旅、ふくしまステイ」について、福島市と歩調を合わせながら、主に観光案内所にてブランド浸透を意図した展開を実施
事業目的	首都圏からのアクセスのしやすさ、市内のさまざまな観光スポット、一人でもグループでも家族の誰とでも楽しめる旅行環境など「ちょうどいい」地域の魅力を発信することで、「ちょうどいい旅、ふくしまステイ」のブランディングを図る。
事業目標(KPI)	福島市(観光交流推進室)の事業目標に準ずる。
事業協力体制 (主催・共催・協賛・後援)	主催:福島市観光コンベンション協会、協力:福島市
売上/年	0円
費用/年	1,653,864円
売上総利益/年	0円
公益事業補助金投入額/年	1,635,234円
協会自主財源投入額/年	18,630円
事務局員対応延べ人数/年	・職員4名 パート職員2名(179,073円)
協会収益ROI 売上総利益÷(投資額+人件費)	ROI 0 $0 \div 1,805,937 \text{円} (\text{事業費 } 1,653,864 \text{円} + \text{人件費 } 149,073 \text{円}) = 0$
経済波及効果を受けた事業者数/年	市内9社
地域への波及効果内容	10社 ・デザイン、看板製作など
メディア報道回数/年	0
メディア報道広告効果/年	0
SNS・WEB発信回数/年	0
SNS・WEBリーチ人数/年	WEB「ちょうどいい旅ふくしまステイ」 PV4,626
来場者・購入者・申込者総数/年	-
地域への波及効果(額)	合計効果 2,579,064円 直接効果 1,653,864円 間接効果 925,200円
地域への波及効果換算額に対するROI 波及効果産出額÷(投資額+人件費)	ROI 0.87 $2,579,064 \text{円} \div 1,805,937 \text{円} (\text{事業費 } 1,653,864 \text{円} + \text{人件費 } 149,073 \text{円}) = 0.87$
特記事項	

5-4-1-4 MICE(コンベンション等誘致)

事業名称	MICE誘致支援 (令和4年4月1日～令和5年3月31日)
報告担当者	村田 崇
事業内容	国際、国内MICEの開催を福島市に誘致するため、大会主催者である各種学会、大学教授、研究者、ミーティングプランナーなどへ継続的な営業活動を行う。また、年に数回開催されるMICE商談会にも福島市の担当課と共に積極的に出展し、誘致活動を行う。
事業目的	・MICE開催中における市内への経済波及効果の最大化 ・開催後の関係人口、交流人口の構築

事業目標(KPI)	①定量目標 商談数 25 件 ②定量実績 商談数 36 件 ③目標達成率 144% ④定性目標 ・福島市での開催における目的、メリット、魅力などを紹介し、開催実現につなげる。
事業協力体制 (主催・共催・協賛・後援)	主催:福島市観光コンベンション協会、 協力:福島市商工観光部コンベンション施設整備課
売上/年	0 円
費用/年	2,797,219 円
売上総利益/年	0 円
公益事業補助金投入額/年	2,000,000 円
協会自主財源投入額/年	797,219 円
事務局員対応延べ人数/年	職員 2 名(3,100,000 円)
協会収益ROI 売上総利益÷(投資額+人件費)	ROI 0 $0 \div 5,897,219 \text{ 円} (\text{事業費 } 2,797,219 \text{ 円} + \text{人件費 } 3,100,000 \text{ 円}) = 0$
経済波及効果を受けた事業者数/年	市内 4 社
地域への波及効果内容	開催誘致、支援に関わる物品購入(チラシ作成、菓子、記念品等)
メディア報道回数/年	-
メディア報道広告効果/年	-
SNS・WEB発信回数/年	-
SNS・WEBリーチ人数/年	-
来場者・購入者・申込者総数/年	-
地域への波及効果(額)	合計効果 : 228,260 円 間接効果 : 0 円 直接効果 : 228,260 円
地域への波及効果換算額に対するROI	ROI 0.03
波及効果産出額÷(投資額+人件費)	$228,260 \text{ 円} \div 5,897,219 \text{ 円} (\text{事業費 } 2,797,219 \text{ 円} + \text{人件費 } 3,100,000 \text{ 円}) = 0.03$
特記事項	

事業執行に必要な活動(ROI対象外)			
	実施月日	事業名	事業概要
1	4 月~3 月	デジタルMICEシステムによるMICE誘致支援	急速にMICE申し込みのデジタル化が進んでいることからソフトバンク社MICEPLATFORMとの連携を検討する。

5-4-2 関係人口拡大

5-4-2-1 バリアフリーツーリズム

事業名称	福島市バリアフリーマスタープランに則した活動 (令和4年4月1日~令和5年3月31日)
報告担当者	佐藤 由香利
事業内容	①心のバリアフリーおもてなし講座企画運営業務 ②コンビニ用コミュニケーション支援シール作成普及業務

事業目的	①市内観光事業者の心のバリアフリー対応力向上・理解促進 ②お身体の不自由な方の旅行の際の不安解消・地域価値創出 ③聴覚障がいの方海外の方などコミュニケーション支援シールによる地域課題解消 ④耳マークの普及・理解促進
事業目標(KPI)	1.1 定量目標 受講者数 50人 1.2 定量成果 受講者数 77人 1.3 目標達成率 154% 2.1 定性目標 市内観光事業者の心のバリアフリーの受入環境を整備する。
事業協力体制 (主催・共催・協賛・後援)	主催:当会 共催:ふくしまバリアフリーツアーセンター(当会傘下) 協力:福島市・セブン-イレブン・ジャパン・福島市聴覚障害者協会・福島市社会福祉協議会・知的障害・発達障害疑似体験もも組
売上/年	0円
費用/年	500,336円
売上総利益/年	0円
公益事業補助金投入額/年	492,000円
協会自主財源投入額/年	8,336円
事務局員対応延べ人数/年	2名:(272,000円)
協会収益ROI 売上総利益÷(投資額+人件費)	ROI:0 0円÷772,336円(500,336円+272,000円)=0
経済波及効果を受けた事業者数/年	おもてなし講座受講事業者:20事業者 市内セブンイレブン:69店舗
地域への波及効果内容	-
メディア報道回数/年	新聞報道:4件
メディア報道広告効果/年	957,000円
SNS・WEB発信回数/年	SNS:5回 観光ノート:4回
SNS・WEBリーチ人数/年	合計:109,404円 SNSPV:5,804円 WEBPV:103,600円
来場者・購入者・申込者総数/年	77名
地域への波及効果(額)	合計 1,566,740円 直接効果 500,336円 間接効果 1,066,404円
地域への波及効果換算額に対するROI 波及効果産出額÷(投資額+人件費)	ROI 2.02 1,566,740円÷772,336(投資額500,336円+人件費272,000円)=2.02
特記事項	

5-4-2-2 域内外の組織や個人との連携支援

事業執行に必要な活動(ROI対象外)			
	実施月日	事業名	事業概要
1	4月~3月	女性マーケティング専門組織との連携による根拠あるターゲット設定	旅行などの消費意思決定は女性が圧倒的多数を占めていることを踏まえ、女性ペルソナ分析で高評価を得ている事業者と連携して、市内素材を踏まえた女性に刺さるサービスや政策を明らかにする。

6 自主事業

6-1 外貨獲得戦略事業

6-1-1 仮想と現実のマーケティングの融合による誘客促進

事業名称	非イベント型キャンペーン【ふくしまピーチホリデー、ふくしまアップルホリデー】（令和4年4月1日～令和5年3月31日）
報告担当者	金澤 千裕
事業内容	①参加事業者勧誘及びとりまとめ/相談対応 ・飲食/宿泊事業者 ・果樹園 ②規格外果実配送支援(ひょう害支援手伝)運営および請求 ③商品開発支援 ④観光ノートフルーツホリデー関連フォロー ⑤周遊ラリー企画運営および集計・分析・フィードバック ⑥LINE 発信・問合せ回答 ⑦フルーツホリデー(元 YouTube)用 Twitter 運用発信
事業目的	市外へ流出している規格外果実を付加価値化し、域内経済循環をはかる。フルーツホリデーのフレームを作り、域内にサーキュラーエコノミーエコシステムの基盤を構築していくことを目的としている。
事業目標(KPI)	①事業者の参加 目標値 40 → 参加事業者 69(達成率 172%) ②果樹園の参加 目標値 5 → 配送支援協力農園 14(達成率 280%) ③コンテンツ作成 目標値 10 → スーツ、宿泊プラン、お土産品 106(達成率 1,060%)
事業協力体制 (主催・共催・協賛・後援)	主催:福島市観光コンベンション協会
売上/年	467,400 円
費用/年	8,801,792 円
売上総利益/年	0 円
公益事業補助金投入額/年	0 円
協会自主財源投入額/年	8,801,792 円
事務局員対応延べ人数/年	1 名
協会収益ROI 売上総利益÷(投資額+人件費)	ROI 0 $0 \div 10,901,792 \text{ 円} (\text{投資額 } 8,801,792 \text{ 円} + \text{人件費 } 2,100,000 \text{ 円}) = 0$
経済波及効果を受けた事業者数/年	【ピーチホリデー】 飲食/宿泊事業者 57 軒、果樹園 6 軒 【アップルホリデー】 飲食/宿泊事業者 29 軒、果樹園 12 軒 合計 100 社
地域への波及効果内容	これまでは各店舗が単独で桃やりんごメニューを開発し発信していたところもあったが、「ピーチホリデー」「アップルホリデー」のフレームを作り、市内の桃やりんごコンテンツをまとめて発信することで、市内外の桃好き、りんご好き層に福島市エリア全体のフルーツ情報をまとめて届けることが可能となった。また桃やりんごメニューに挑戦したくてもできずにいた事業者の背中を押すきっかけにもなり、桃やりんごの産地らしく、フルーツコンテンツの充実を図る基盤が出来上がってきた。 温泉街に宿泊してそのまま会津や仙台などの観光地へ流れていた観光客をまちなか周遊へ促すことにも一役買っている。 規格外品を使うことで『もったいない』『無駄をなくす』に事業者や市民にも目を向け考えるきっかけを与えている。
メディア報道回数/年	【ピーチホリデー】 ●新聞 23 回 (5,871,000 円)

	<p>民報 10、民友 7、日本農業新聞 3、時事通信 1、朝日新聞1、読売新聞1</p> <p>●テレビ 10回 (26,460,000円) NHK福島 2回、NHK仙台 1回、FTV1回 FCT1回、KFB2回、日本テレビ 1回、フジテレビ 1回</p> <p>●WEBメディア 44回 (5,321,000円)</p> <p>【アップルホリデー】</p> <p>●新聞 9回 (4,217,023円) 民友3、民報5、日本農業新聞1</p> <p>●テレビ 5回 (20,580,000円) NHK福島/東北各 1回、FTV1回、KFB1回、FCT1回</p> <p>●WEBメディア 34回 (2,043,100円)</p> <p>合計 108件/年</p>
メディア報道広告効果/年	112,382,123円/年
SNS・WEB発信回数/年	<p>ことりっぴ Twitter: 2件 観光ノート Twitter: 44件 観光ノート Instagram: 24件 観光ノート Facebook: 62件 マキ&チヒロ Twitter: 50件 LINE: 565回(一斉送信および問合せ者への対応)</p> <p>合計 780件/年</p>
SNS・WEBリーチ人数/年	<p>ことりっぴ Twitter: 8455名 (169,100円) 観光ノート Twitter: 177,115名 (294,230円) 観光ノート Instagram: 4,103名 (82,060円) 観光ノート Facebook: 1,112名 (22,240円) マキ&チヒロ Twitter: 6202名 (124,020円) LINE: 1204名 (24,080円)</p> <p>合計 190,732名/年 (広告換算効果 715,730円)</p>
来場者・購入者・申込者総数/年	<p>【ピーチホリデー】 シールラリー参加者: 205名</p> <p>【アップルホリデー】 シールラリー参加者: 336名</p> <p>合計 541名/年</p>
地域への波及効果(額)	113,096,853円
地域への波及効果換算額に対するROI 波及効果産出額÷(投資額+人件費)	<p>ROI 10.37</p> <p>113,096,853円÷10,901,792円 (投資額 8,801,792円+人件費 2,100,000円)=10.37</p>
特記事項	<p>【ピーチホリデー掲載コンテンツ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飲食メニュー 61個 ・体験コンテンツ 8個 ・お土産品 22個 ・宿泊プラン 8個 <p>【アップルホリデー掲載コンテンツ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飲食メニュー 43個 ・体験コンテンツ 1個 ・お土産品 10個 ・宿泊プラン 1個

6-1-2 2023年を見据えた(アジア)誘客促進

事業名称	台湾に対するプロモーション (令和5年2月1日～2月28日)
報告担当者	高橋 康
事業内容	アジア圏の高所得者層獲得に成功した四国をロールモデルとしつつ、主に福島市の桃を素材として、コロナ終息後に向けた台湾インバウンド誘客の可能性を探る。
事業目的	<p>1)台湾における日本産フルーツ(特にもも)の市場トレンド調査</p> <p>2)福島市インバウンドPRを効果的に展開するための調査・意見交換・コネクション作り</p> <p>3)台湾産ももの生産地の現地調査・生産者との意見交換</p>

事業目標(KPI)	<p>定量目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 台湾人が好む桃コンテンツ調査(200名対象) 達成率 75%(153名) <p>定性目標</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ後の本格展開に向けて台湾人インフルエンサーや現地企業、関係者とコネクションを作り
事業協力体制 (主催・共催・協賛・後援)	<p>主催 福島市観光コンベンション協会</p> <p>協力 飯坂温泉観光協会</p>
売上/年	0円
費用/年	670,067円
売上総利益/年	0円
公益事業補助金投入額/年	0円
協会自主財源投入額/年	670,067円
事務局員対応延べ人数/年	3名(542,080円)
協会収益ROI 売上総利益÷(投資額+人件費)	<p>0</p> <p>$0 \div 1,212,147 \text{円} (\text{投資額 } 670,067 \text{円} + \text{人件費 } 542,080 \text{円}) = 0$</p>
経済波及効果を受けた事業者数/年	6社(現地への土産物代など)
地域への波及効果内容	100,000円
メディア報道回数/年	0
メディア報道広告効果/年	0
SNS・WEB発信回数/年	0
SNS・WEBリーチ人数/年	0
来場者・購入者・申込者総数/年	0
地域への波及効果(額)	<p>合計 100,000円</p> <p>直接効果 100,000円</p> <p>間接効果 0円</p>
地域への波及効果換算額に対するROI 波及効果産出額÷(投資額+人件費)	<p>ROI 0.55</p> <p>$670,067 \text{円} \div 1,212,147 \text{円} (670,067 \text{円} + 542,080 \text{円}) = 0.55$</p>
特記事項	<p>現地では日本台湾交流協会台北事務所、JAPAN SAKURA BASE、桃園市復興区などを訪問した。台湾人インフルエンサーやメディア関係者(合計4名)とも意見交換も行い、次年度以降の誘客促進のための情報収集や意見交換を行った。</p>

6-1-3 来訪者が循環する仕組みづくり

事業執行に必要な活動(ROI対象外)			
	実施月日	事業名	事業概要
1	4月～3月	外貨獲得・来訪者が循環する仕組み	来訪者が気軽に多様なポイントを循環できるようにシステム上あるいはストーリー上の仕組みづくりを行う。
2	4月～3月	オリジナルふりかエールプロジェクト	朝ドラエールの世界観を引き続き楽しむことをPRすることを目的に令和3年度に実施した「ふりかエール旅キャンペーン」の商品発送業務(商品代や送料)
3	4月～2月	ぐるりいいざか	令和2年度観光庁補助事業で導入されたCRMアプリ「ぐるりいいざか」。地域全体での顧客の囲い込みを目的とした実証実験は2月で終了。

6-1-4 デジタル時代の効果的な誘客を支えるデータ収集・解析・分析

事業名称	福島市へのご宿泊ありがとうキャンペーン (令和4年4月1日～令和5年3月31日)
報告担当者	高橋 康
事業内容	市内観光関連5団体(飯坂温泉観光協会、土湯温泉観光協会、高湯温泉観光協会、福島市旅館ホテル協同組合、当会)会員の宿泊施設、及び各種キャンペーンに参加する市内宿泊施設(合計86軒)に協力いただき、福島の名産品を賞品とした来訪者デジタルアンケート調査を実施。合計16,000名を超える宿泊者に回答いただき、福島市や3温泉地それぞれに対する満足度、福島の名物料理やくだものなど、収集したデータを分析して、更なる地域ブランディングに役立てる。集計データは分析して『見える可』を行い、翌年度に市内4か所で報告会を行う。
事業目的	①来訪者の特徴をマクロ、ミクロ両面から分析することで、当会が地域DMOとして各種施策を展開するうえでの基礎データを収集する。 ②分析結果を宿泊施設等に共有することで、各施設の事業戦略策定に役立ててもらう。
事業目標(KPI)	定量目標 ・回答者 7,400名(2021年調査実績) 成果 16,862名 達成率 227% 定性目標 ・市内すべての宿泊施設に協力いただくとともに、収集・分析したデータを各宿泊施設の戦略策定に活用いただく。
事業協力体制 (主催・共催・協賛・後援)	主催 福島市観光コンベンション協会 協力 飯坂温泉観光協会、土湯温泉観光委協会、高湯温泉観光協会、福島市旅館ホテル協同組合及び当会会員宿泊施設、左記以外で各種キャンペーンに参加している市内宿泊施設
売上/年	0円
費用/年	26,664,303円
売上総利益/年	0円
公益事業補助金投入額/年	0円
協会自主財源投入額/年	2,664,303円
事務局員対応延べ人数/年	1名(522,000円)
協会収益ROI 売上総利益÷(投資額+人件費)	$0 \div 3,186,303 \text{円} (2,664,303 \text{円} + 522,000 \text{円}) = 0$
経済波及効果を受けた事業者数/年	14社(賞品提供事業者、印刷会社)
地域への波及効果内容	2,664,303円
メディア報道回数/年	-
メディア報道広告効果/年	-
SNS・WEB発信回数/年	-
SNS・WEBリーチ人数/年	-
来場者・購入者・申込者総数/年	応募者 16,862名
地域への波及効果(額)	合計 2,664,303円 直接効果 2,664,303円 間接効果 0円
地域への波及効果換算額に対するROI 波及効果産出額÷(投資額+人件費)	ROI 0.83 $2,664,303 \text{円} \div 3,186,303 \text{円} (2,664,303 \text{円} + 522,000 \text{円}) = 0.83$
特記事項	市内観光関連5団体会員に対して、収集したデータの分析報告会を実施する(令和5年5月)

6-1-5 ツーリズムEXPO出展

事業名称	ツーリズムEXPO出展 (令和4年9月22日～9月25日)
報告担当者	横葉 純一
事業内容	日本最大級の観光旅行博への福島市単独出展 新型コロナの行動制限によって開催中止が続いていたが、3年ぶりの本格開催で、アフターコロナへの反転攻勢に向け、東北で単独市町村で出店したのは、福島市のみであった。 また、出展運営に当たっては、外注の頼るのではなく、当会内スタッフで企画・設計・運営まで全てを行い、現地での運営では福島学院大学の学生延べ8人による運営スタッフ協力、市内7事業者もブース内企画への出展も協力頂いた。
事業目的	ブースコンセプト「暮らすように旅をする」/暮らすように旅をしよう。を掲げ、当会の取組「ふくしまピーチホリデー・アップルホリデー」の世界観や、電被害を受けた果物支援と福島市のキラコンテナツ果物の認知拡大を目的に出展・女性来訪者の様々な「こだわり」に応えられるふくしま観光の「多様性」を理解・共感してもらう。 ・旅をきっかけに移住した女性達のストーリーを通じて、ふくしま人の「親和性」を理解・共感してもらう。 ・移住してきた多様な「女性達」が闊達に活躍しているふくしま社会の「受容性」を理解・共感してもらう。
事業目標(KPI)	-
事業協力体制(主催・共催・協賛・後援)	主催:当会
売上/年	819,000円
費用/年	2,292,476円
売上総利益/年	-円
公益事業補助金投入額/年	0円
協会自主財源投入額/年	2,292,476円
事務局員対応延べ人数/年	準備対応:1名×10日 700,000円 当日運営対応:述べ14人日 560,000円
協会収益ROI 売上総利益÷(投資額+人件費)	協会収益ROI=0 0円÷2,852,476円(2,292,476円+560,000円)
経済波及効果を受けた事業者数/年	ミニイベント参画事業者:7社 ブースデザイン事業者:1社 梨販売提供事業者:2社 ももジュース販売事業者:2社 会場配布カード制作事業者:1社 備品レンタル事業者:2社
地域への波及効果内容	「ふくしまピーチホリデー」カード配布による、認知拡大 福島市観光パンフレット配布による旅行情報の提供 梨のブース内販売において、約5,000個を完売した 桃ジュース試飲 7,000杯を来場者へ提供
メディア報道回数/年	-
メディア報道広告効果/年	-
SNS・WEB発信回数/年	観光ノート記事:2回
SNS・WEBリーチ人数/年	-
来場者・購入者・申込者総数/年	イベント来場者数:122,000名 福島市ブース来場者数:30,000名 桃ジュース試飲:7,000名 梨購入者数:約1,500名
地域への波及効果(額)	合計 819,000円 直接効果 819,000円 間接効果 0円

地域への波及効果換算額に対するROI 波及効果産出額÷(投資額+人件費)	ROI 0.29 819,000 円÷2,852,476 円=0.29
特記事項	なし

6-2 内発循環戦略事業

6-2-1 生産者から飲食事業者への果実規格外品供給仕組みづくり

その他:事業執行に必要な活動(ROI対象外)		
実施月日	事業名	事業概要
4月~3月	生産者から飲食事業者への果実規格外品供給仕組みづくり	域内サプライチェーンの欠如を補うため、現実的問題解消の足掛かりとしてフルーツに関するサプライチェーンの安定化を企図する。

6-3 関係人口拡大戦略事業

6-3-1 共創の仕組みづくり

事業名称	ワクチン集団職域接種事業 (令和4年4月19日~6月30日)
報告担当者	村田 崇
事業内容	福島市内観光関連5団体による連携企画ワクチン職域接種の運営
事業目的	福島市内観光関連事業者に対して、集団接種の機会を設けることで、地域における集団免疫獲得を目指す ①来訪者に安心して福島市を楽しんでいただくため ②従業員が安心して福島市で勤務していただくため ③コロナ収束後に到来が予想される「反動消費(パントアップ・デマンド)」に向けて業界全体で準備を進めるため
事業目標(KPI)	接種目標 2,100人(前回接種者の度の7割) 接種人数:1,497人 達成率 71%
事業協力体制 (主催・共催・協賛・後援)	事業主体:当会 協力団体:飯坂温泉観光協会・高湯温泉観光協会・土湯温泉観光協会・福島市旅館ホテル協同組合
売上/年	7,542,534 円
費用/年	3,661,870 円
売上総利益/年	3,880,664 円
公益事業補助金投入額/年	2,245,000 円
協会自主財源投入額/年	0 円
事務局員対応延べ人数/年	3名(2,125,000円) 全体統括運営:1名(横葉) 21日 総務業務対応:2名(二瓶、村田) 40日 当日運営スタッフ:延べ133名
協会収益ROI 売上総利益÷(投資額+人件費)	ROI=1.30 7,542,534 円÷5,786,870 円(事業費 3,661,870 円+人件費 2,125,000 円)=1.30
経済波及効果を受けた事業者数/年	ワクチン接種 118 法人 ・市内在住医療従事者 (医師のべ 33 名、看護師のべ 99 名、アルバイトのべ 110 名)
地域への波及効果内容	ワクチン接種者 1,497 名
メディア報道回数/年	1 回
メディア報道広告効果/年	1,054,000 円
SNS・WEB発信回数/年	-

SNS・WEBリーチ人数／年	－
来場者・購入者・申込者総数／年	ワクチン接種完了者:1,497名
地域への波及効果(額)	合計：4,715,870円 直接効果：3,661,870円 間接効果：1,054,000円
地域への波及効果換算額に対するROI 波及効果産出額÷(投資額+人件費)	ROI=0.81 4,715,870円÷5,786,870円(事業費3,661,870千円+人件費2,125,000円)=0.81
特記事項	昨年度に比べ接種方法が多様化していることもあり、今年度の参加は事業数118、人数1,497名にとどまった。(昨年度事業者448、参加人数3,000)

6-4 先進マーケティング組織(先進DMOを目指した組織改革)戦略事業

6-4-1 先進マーケティング組織(先進DMOを目指した組織改革)

事業執行に必要な活動(ROI対象外)			
	実施月日	事業名	事業概要
1	5月～11月	データ分析講座	デジタル社会への急速な移行により、重要性が高まっている『データ分析』の基本的な考え方や手法を学ぶ。 開催期間:5月25日(水)～11月29日(水) 回数:全25回 受講生数:39名
2	7月～8月	プレスリリース作成講座 (入門編)	デジタル時代における読み手の心情に配慮した、かつ理解しやすい文章作成方法を学ぶ 開催期間:7月5日(火)～8月2日(火) 回数:全4回 受講生数:42名
3	10月	機械翻訳のための 日本語プレエディット講座	インバウンドの需要増加に対応するためデジタル技術を駆使した機械翻訳を学ぶ 開催期間:10月4日(火)～10月25日(火) 回数:全3回 受講生数:19名
4	4月～3月	先進マーケティング機能強化	これまでの組織改革を引き続き進めるとともに、先進的DMOを目指すために先進地視察を行う。

6-5 ふるさと納税運営

事業名称	ふるさと納税運営事業 (4月1日～3月31日)
報告担当者	二瓶佐知子/ガラール真紀
事業内容	福島市ふるさと納税運営業務
事業目的	①福島市の財源確保・拡大 ②市内事業者の販路・売上の拡大 ③市内農家の販路・売上の拡大 ④新規返礼品による地域課題の解消解決 ⑤納税寄附を通じた関係人口拡大 ⑥事業収益の地域再投資による地域貢献
事業目標(KPI)	①ふるさと納税寄付件数 58,000件(前年比125%) ②ふるさと納税寄付額 1,500,000,000円(前年比125%)

	③参画事業者数(累計)200社(前年比 125%) ④新規返礼品数(累計)665件(前年比 -%) ⑤関係人口創出・拡大(リピーター):1,500人(前年比 125%)
事業協力体制 (主催・共催・協賛・後援)	主催:福島市 共催:当会
売上/年	77,503,000円(事務手数料)
費用/年	41,364,000円
売上総利益/年	36,139,000円
公益事業補助金投入額/年	0円
協会自主財源投入額/年	0円
事務局員対応延べ人数/年	パート職員:5名(専業)職員:3名(専業1、兼業0.5か月×2) 17,755,000円
協会収益ROI 売上総利益÷(投資額+人件費)	ROI=1.31 手数料77,503,000円÷59,119,000円 (事務費用41,364,000円+人件費17,755,000円)=1.31
経済波及効果を受けた事業者数/年	返礼品取扱事業者:180社 広告事業者:SNS1社 インターネット関連:3社(HP1、RPA2) 配送事業者:1社 郵便事業者:1社 印刷事業者:1社
地域への波及効果内容	ふるさと納税額 1,180,000,000円(速報値) ①事業者への波及効果(返礼品代金)393,333,000円 ②福島市税歳入 590,000,000円
メディア報道回数/年	県内 新聞報道11回、TV報道4回 オンラインメディア:398回(PRTIMES掲載記事参照・転載)
メディア報道広告効果/年	15,135,000円
SNS・WEB発信回数/年	観光ノート記事 7回
SNS・WEBリーチ人数/年	-
来場者・購入者・申込者総数/年	寄附件数 約40,500件
地域への波及効果(額)	”合計 998,468,000円 直接効果 983,333,000円 間接効果 15,135,000円”
地域への波及効果換算額に対するROI 波及効果産出額÷(投資額+人件費)	”ROI 16.88 998,468,000円÷59,119,000円 (事務費用41,364,000円+人件費17,755,000円)=16.88
特記事項	第一回ふるさと納税研究会開催(2023年2月22日)

7 メディア掲載実績

7-1 新聞掲載実績

<福島市観光案内所>		
掲載日	新聞名	タイトル
5.19(木)	福島民友	学生が市民観光案内人
7.5(火)	福島民報	再開発事業完了まで4年 中心市街地「にぎわい」創出へ「プロジェクト」始動
7.7(木)	福島民友	福島の街なかにぎわいを市の創出プロジェクト始動 駅東口再開発事業に合わせ空洞化の加速防ぐ
11.24(木)	情報ナビ time (民報付属紙)	ふくしま方言クイズ 実力試しにチャレンジ
1.27(金)	福島民報	桃源郷の思い出 お土産に 写真家・秋山庄太郎さん撮影花見山グッズ販売 風呂敷やストラップ
3.14(火)	福島民報	大相撲春場所初日パブリックビューイング
3.14(火)	福島民友	若隆景らの取り組み地元ファン応援 福島駅西口でPV
<西口大型ビジョン>		
掲載日	新聞名	タイトル
5.7(土)	福島民報	市民大勢、歓喜に沸く 春場所千秋楽福島駅前でPV
5.10(火)	福島民友	福島駅広場で若隆景ら応援
5.23(月)	福島民友	3兄弟の取組みに熱視線 福島でPV「来場所に期待」
7.11(月)	福島民報	若隆景らの取組地元ファン応援 福島駅西口でPV
7.11(月)	福島民友	大波3兄弟を応援 福島駅前
7.26(火)	福島民友	福島駅前で熱視線
9.13(火)	福島民報	若隆景や若元春応援 ファン、後援会 福島駅前でPV
9.26(月)	福島民友	大型ビジョンで応援
11.28(月)	福島民友	千秋楽の一番見守る 福島駅西口
1.9(月)	福島民報	頑張れ大波兄弟！！
1.9(月)	福島民友	福島から熱い声援
1.23(月)	福島民報	PVでエール 福島駅西口広場
1.23(月)	福島民友	2人の勝利に歓声
3.14(火)	福島民報	若隆景らの取組 地元ファン応援
3.14(火)	福島民友	【奥の細道欄】大相撲春場所西口PV
<ふくしまバリアフリーツアーセンター>		
掲載日	新聞名	タイトル
9.6(火)	福島民友	【奥の細道欄】JTA 動画完成
10.3(月)	福島民友	心のバリアフリーキャッチフレーズ
11.10(木)	福島民友	地下歩道階段に古関裕而デザイン 福島駅前
11.17(木)	福島民友	“古関裕而階段”お披露目 福島学院大生デザイン
2.11(土)	福島民報	心のバリアフリーおもてなし講座
2.14(火)	福島民友	観光施設バリアフリー化講座
3.6(日)	福島民友	福島市に車いす10台
3.15(水)	福島民報	市に車椅子10台

3.19(日)	福島民友	【こけし欄】耳が聞こえにくい人や外国人がコンビニで活用できるシールを作成
<いかにんじん>		
掲載日	新聞名	タイトル
4.16(土)	福島民報	郷土料理いかにんじん使用「100年フード」全国初の認定ロゴ 炊き込みご飯のもと販売 いちいなど開発
4.16(土)	福島民友	【奥の細道欄】「いかにんじん」を使った「炊き込みご飯のもと」販売開始
4.26(火)	河北新報	「いかにんじん」で炊き込みご飯 福島で「素」発売、気仙沼カツオ、久慈コンブ使用
<福島市ふるさと納税>		
掲載日	新聞名	タイトル
4.16(土)	福島民友	返礼品に感動、共感をふるさと納税研設立へ 福島市の観光団体 関係人口の拡大目指す
6.9(木)	福島民報	県内 2021年度 ふるさと納税過去最高 52億5200万円 コロナ需要 や復興支援
12.6(火)	福島民報	【こけし欄】「東湯野ふるさと保全組合 KA-KA-SHI 組」作成のイラスト入 りリンゴがふるさと納税返礼品に
12.10(土)	河北新報	好きな果物選べるチケットふるさと納税返礼品に
12.11(日)	福島民報	UFO研究所の会員カード追加 福島市 31日まで受け付け、限定350人 ふるさと納税返礼品
12.24(土)	福島民報	福島駅 ふるさと納税案内カウンターを開設
12.30(金)	福島民友	【奥の細道欄】福島市ふるさと納税返礼品に「協三工業」の蒸気機関車、10 分の1スケール模型登場
12.31(土)	福島民友	返礼品にジェラート、ギョーザ
1.14(土)	福島民報	返礼品にSL模型 ふるさと納税 協三工業製作
2.17(金)	福島民友	温泉とワイン楽しむランチ 福島市ふるさと納税返礼品に追加
3.4(土)	福島民報	福島市のふるさと納税返礼品 花見山の風呂敷など追加
<UFO研究所>		
掲載日	新聞名	タイトル
6.18(土)	福島民報	飯野のUFO研究所開所から1年目撃情報の調査結果 25日に発表
6.24(金)	福島民友	研究所きょう開所1年 UFO「極秘情報」開示…？
6.25(土)	福島民報	飯野のUFO研究所・三上所長 木幡市長に報告書
6.25(土)	福島民友	「UFO研究所」開所1年 ムー編集長「世界的拠点に」
6.26(日)	福島民報	4件「UFOの可能性高い」飯野の研究所目撃情報分析結果を公表
6.26(日)	福島民友	「UFOの可能性高い」福島・研究所 目撃情報4件解説
6.27(日)	福島民友	千貫森「UFO呼ぶ環境」福島・研究所開所1年 頂上で三上所長が解説
6.29(水)	福島民報	こけし欄 飯野町の街頭路に UFO研究所のロゴマークの旗がお目見え
7.16(土)	福島民友	世界脚光 UFOの里「自分も見た」報告続々 福島・飯野「研究所」、まちお こしロマン再熱
10.10(月)	福島民友	【座標軸欄】「UFOふれあい館」館長 菅野利男氏
10.22(土)	福島民報	宇宙人が降臨！？来月12、13日日本初「UFOフェス」
10.22(土)	福島民友	UFOファンの祭典に 来月、ふれあい館30周年催し
10.25(火)	福島民報	米UFO調査 日本政府も「動向注目」
11.5(土)	福島民友	宇宙人仮装 参加募る 12、13日福島UFOフェス飯野町商店街でパレ ード

11.9(水)	福島民友	「宇宙人」になりませんか 飯野 12 日から UFO フェス
11.10(木)	福島民友	サーチライトで UFO 呼べる？ 12,13 日飯野でフェス
11.12(土)	福島民報	UFO 来るかな！？宇宙へ光 飯野で試験点灯 きょうあす「フェス」
11.12(土)	福島民友	未知との遭遇 求める光 飯野・きょうから UFO フェス
11.13(日)	福島民報	UFO 現れなかったけど…ワレワレハロマンタノシンダ 飯野きょうまでフェス 仮装や交信試みる
11.13(日)	福島民友	宇宙人、飯野に集合？国内初フェス仮装で町行進
11.15(火)	福島民報	「未知との交信」楽しむ 飯野 日本初の UFO フェス ご当地グルメ提供も
11.15(火)	福島民友	UFO ファン笑顔 飯野で国内初フェス
12.4(日)	福島民報	UFO の里 情報発信 飯野の地域おこし協力隊近野さん(大阪)着任、市長から” 極秘指令”
12.7(水)	福島民報	銀河系のおいしさ！？宇宙人型燻製たまご UFO の里の新名物 福島の工房開発
12.20(火)	福島民友	極秘指令はUFOの里PR「責任の重さ感じるが、まだ気配感じない」、地域おこし協力隊に近野さん
2.25(土)	福島民報	あなたも UFO 調査隊に！？ きょうから VR 動画公開 福島 ふれあい館 30 周年事業
3.23(木)	福島民友	UFO 呼サーチライト
<コロナワクチン集団接種>		
掲載日	新聞名	タイトル
4.10(日)	福島民報	夜間接種予約受け付け 福島市新型コロナワクチン
4.24(日)	福島民報	福島の観光関連 5 団体 コロナワクチン 3 回目接種始まる
5.11(水)	福島民報	モデルナワクチン 18 歳未満に誤接種 福島の観光団体
5.11(水)	福島民友	18 歳未満 1 人にワクチン誤接種 福島市の団体 3 回目
<その他事業>		
掲載日	新聞名	タイトル
4.10(日)	福島民友	大阪で福島のモモPR
5.28(土)	福島民報	常磐もの魚介類 東電がブース 大阪のサカナフェス
5.30(月)	福島民報	観光振興へデータ活用 福島市コンベンション協事業者講座始まる、統計分析の基礎始動
7.26(火)	福島民友	ひょう害生産者を応援 福島市がサイト
10.7(金)	福島民友	翻訳ツール活用学ぶ
10.21(金)	福島民友	幻想的「夜の果樹園」飯坂・きょうから
10.22(土)	福島民報	幻想的な夜の果樹園あすまでライトアップ福島飯坂・まるせい
10.24(月)	福島民友	花案内人養成講座が開講
10.26(火)	福島民友	リンゴ輝く「夜の果樹園」
11.25(金)	福島民報	福島市デジタル化へ人材バンク 市内企業・団体とマッチング 1 日から募集
11.29(火)	福島民友	デジタル人材バンク設置 福島市中小企業の課題解決支援
11.30(水)	福島民友	ひょう害のリンゴ福島市が仙台で販売
3.26(土)	毎日新聞	【画像提供】春告げる雪ウサギ

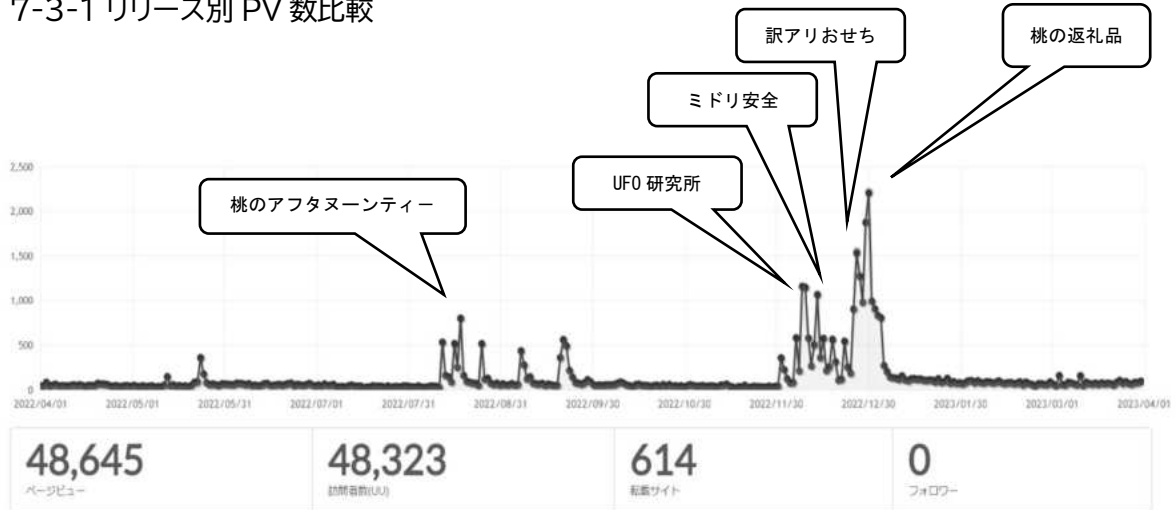
7-2 テレビ等放送実績

<福島市観光案内所>		
放送日	メディア名	タイトル
6.7(火)	福島放送	スタッフ増員で外国語に対応 受入再開に案内所は期待
<ふくしまピーチホリデイ>		
放送日	メディア名	タイトル
7.6(水)	NHK 福島放送局	桃のシーズン秋まで楽しむ
7.23(土)	NHK 仙台放送局	ふくしまピーチホリデイ 2022
7.29(金)	福島中央テレビ	ひょう害乗り越え…おどろきの工夫 福島駅で「蛇口から桃ジュース」
7.29(金)	NHK 仙台放送局	お宝マップ道の駅「道の駅ふくしま」
8.1(月)	福島放送	奇跡のモモを使った新メニュー モモを楽しむピーチホリデイ
8.3(水)	NHK 福島放送局	飲食店も農家を応援！ “訳あり桃” をおいしい料理に
8.13(土)	福島テレビ	浜ちゃんぽ福島市編 ふくしまピーチホリデイ 2022 巡る
8.17(水)	福島放送	販売開始 30 分で完売 規格外のモモが驚きの商品に
8.17(水)	日本テレビ	【ZIP!】旬の桃を楽しむ㊦スポット
8.21(日)	福島テレビ	自ら収穫したモモでデザート作り 夏休みは今日が最終日
<ふくしまアップルホリデイ>		
放送日	メディア名	タイトル
10.21(金)	福島放送	夜の果樹園ハロウィンナイト 旬のフルーツを使ったグルメも
10.22(土)	福島中央テレビ	観光資源を活かして 福島市夜の果樹園 2022
12.1(木)	福島放送	旬のリンゴを様々な料理で！ アップルホリデイ 2022
12.3(土)	福島テレビ	リンゴ収穫最盛期！アップルホリデイ開催中の福島市をお散歩
12.12(月)	NHK 福島放送局	福島市で初のキャンペーン 旬の“規格外りんご” を味わう
<コロナワクチン集団接種>		
放送日	メディア名	タイトル
4.20(水)	福島テレビ	福島市で夜間接種 職域接種で確保したワクチンを働き盛りの市民に
4.20(水)	福島放送	宿泊業者などに職域接種 大型連休前に利用者に安心を
<ふるさと納税>		
放送日	メディア名	タイトル
6.16(木)	福島放送	ふるさと納税好調の福島市 農家の思いと市の戦略が
12.14(水)	NHK 福島放送局	「ふるさと納税」ことしはどこに寄付する
12.19(月)	福島中央テレビ	“かけこみ寄付” 増えるのに合わせて 福島市に「ふるさと納税」案内カウンター
12.23(金)	NHK 福島放送局	ふるさと納税返礼品に果物などの引き換え券
<その他事業>		
放送日	メディア名	タイトル
9.23(金)	INTERNET TENZIKAI	[「ツーリズムEXPOジャパン 2022」 暮らす様に旅をしよう福島(福島市観光コンベンション協会)]
10.5(水)	福島放送	外国人観光客受け入れに向け翻訳ツールを使うコツとは

7-3 オンラインメディア掲載実績

オンラインメディアリリースによる『セグメンテーションターゲット』への訴求効果

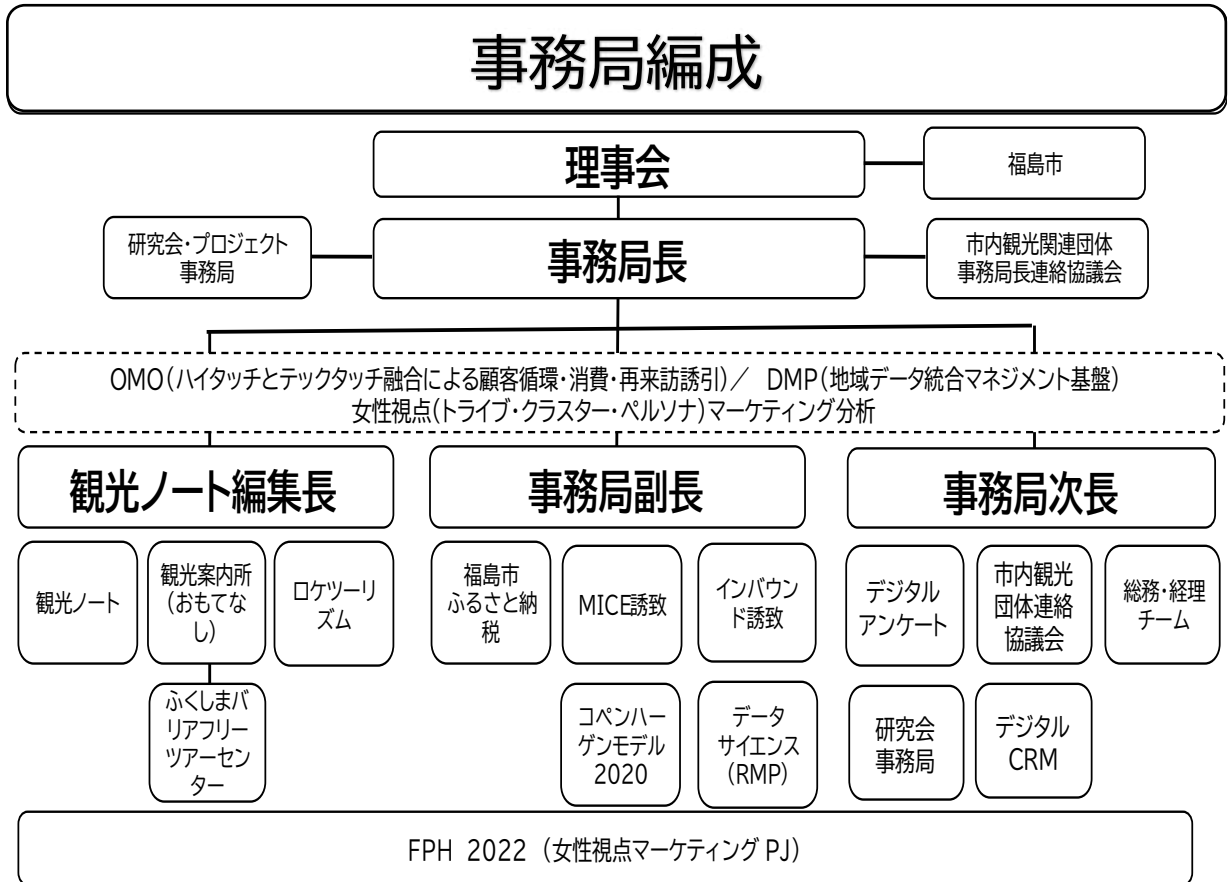
7-3-1 リリース別 PV 数比較



7-3-2 記事別 PV 数およびデバイス別閲覧割合

配信日	タイトル	PV	転載数	PC 割合	スマホ 割合	タブレッ ト割合
2022年5月24日	未来の観光人材育成インターンシッププロジェクト（有償型）-市民コンシェルジュ・ジュニアが始動しました！	936	29	84.08%	15.34%	0.58%
2022年8月12日	とれたて桃で作る期間限定「桃のアフタヌーンティーセット」【ふくしまピーチホリデイ2022】	1556	39	49.73%	47.15%	3.11%
2022年8月16日	しょっぱい桃フード「桃のオープンサンド」が新登場【ふくしまピーチホリデイ2022】	982	27	78.88%	19.59%	1.53%
2022年8月25日	福島の桃を使った3種類のカラフルかき氷が登場【ふくしまピーチホリデイ2022】	941	27	63.57%	33.94%	2.49%
2022年9月7日	完売必至！桃1個をゴロッと使った期間限定商品「桃のフルーツ大福」【ふくしまピーチホリデイ2022】	1018	20	57.95%	39.52%	2.53%
2022年9月20日	【福島市】熟練板前がフードトレーラーで本格バーガーショップを開業！コロナ禍で増加「異業態複業」飲食店	1446	30	50.89%	46.69%	2.42%
2022年9月21日	福島市内の居酒屋が昼の業態として開業したベーカリーにカフェを併設、新たな客層を呼び込む取り組みも実施【ふくしまピーチホリデイ2022参加店】	995	20	66.91%	31.31%	1.79%
2022年9月22日	福島市、ツーリズムEXPOジャパン出展「暮らすように旅する」をテーマにブース展開	662	23	75.59%	22.71%	1.69%
2022年12月2日	桃好き必見！福島市ふるさと納税限定「13種の桃」とことん食べ比べ定期便」が登場！～7月から9月まで福島自慢の桃がご自宅へ～	910	24	78.66%	18.09%	3.25%
2022年12月7日	飯野町「国際未確認飛行物体（UFO）研究所」ふるさと納税で「UFO研究所会員」に！～メンバーズカードと限定グッズの返礼品セットが初登場～	1785	22	51.06%	46.14%	2.80%
2022年12月13日	【農産物の地域循環】鉄工所が開発したジェラートの地域ブランド「MOTTAI」が福島市ふるさと納税に登場	1172	30	69.35%	29.96%	0.69%
2022年12月10日	ありそうでなかった！！くだもの返礼品好きなくだものを現地で入手できる「ふくしまフルーツチケット」～くだものは実際に自分の目で選ぶ派にオススメ～	1299	32	89.74%	9.36%	0.90%
2022年12月9日	福島だからこそ防災でお役に立ちたい！【福島市ふるさと納税】ミドリ安全 折りたたみヘルメット	1861	24	31.09%	64.25%	4.65%
2022年12月14日	餃子一筋70年余り、ふくしま餃子の名店「餃子の照井」オリジナル餃子を返礼品として出品します	1333	28	35.47%	59.92%	4.62%
2022年12月16日	【福島市ふるさと納税】果物好きの皆さん！2023年は果物の木のオーナーになってみませんか？「まるえ観光果樹園」桃・りんごの木 共同オーナー権が返礼品に新登場！	1671	23	48.25%	47.81%	3.94%
2022年12月23日	【福島市ふるさと納税】福島市が誇るキッズダンス教室【ダンススタジオViVid】のレッスンを返礼品に～TWICEの振付も担当する「Ruu」氏レッスンも可能～	1044	25	62.62%	35.33%	2.05%
2022年12月26日	お財布にやさしい「訳ありおせち」が返礼品に！！【福島市ふるさと納税】【期間限定・数量限定】	2525	35	34.03%	60.96%	5.01%
2022年12月27日	SL技術の粋を集めた蒸気機関車1/10スケールが返礼品に登場！	1706	24	67.52%	30.57%	1.90%
2022年12月28日	お財布にやさしい「訳ありりんご」が返礼品に登場！！【福島市ふるさと納税】【期間限定・数量限定】	1091	38	81.82%	17.08%	1.10%
2022年12月29日	あなたにピッタリな返礼品はこれ！福島市ふるさと納税情報サイトがリニューアルオープン！！	1250	37	90.81%	8.73%	0.45%
2022年12月30日	《人気返礼品「ふくしまの桃」》年末の品切れ"ガッカリ"を無くしたい！桃の返礼品1,075種類をご用意！	4680	7	91.61%	7.63%	0.77%
2022年12月31日	さむ～い冬に「あま～いビタミンC」をお届けしたい！こだわり若手生産者の「樹上完熟大玉とちおとめ」が初登場！《福島市ふるさと納税》	1764	22	89.57%	9.36%	1.07%
2022年12月31日	主夫・主婦・共働きの皆さま応援！ふくしまの「無洗米」。福島市ふるさと納税に初登場！	1058	27	83.73%	15.96%	0.30%

8 事務局組織図



9 会議(主体的に開催した会議)

当会事業を円滑に実施するために開催した会議

名称	時期	場所	内容
第1回理事会(電磁的)	5月18日	---	総会開催について
第2回理事会	5月31日	福島テルサ	総会提出議案について、 令和3年度特別監査実施結果 について など
通常総会	6月7日	ウエディング ・エルティ	令和3年度事業報告、令和4 年度事業計画について など
第3回理事会	7月26日	杉妻会館	理事補充について、新規入会 希望者審査について など
臨時総会	8月30日	オンライン	理事補充について
第1回最高経営会議 (ボード会議)	10月18日	市民会館	次年度戦略基本方針 「VISION2025」について、 「ふくしまピーチホリデイ」 実施報告について など
第4回理事会	10月28日	市民会館	次年度戦略基本方針 「VISION2025」について、 「ふくしまピーチホリデイ」 実施報告について など
第2回最高経営会議 (ボード会議)	12月26日	福島テルサ	役員体制について
第3回最高経営会議 (ボード会議)	1月23日	市民会館	予算執行状況について、 観光庁「先駆的DMO」申請 について など
第4回最高経営会議 (ボード会議)	3月27日	福島テルサ	理事会提出議案について、 第1回ふるさと納税研究会開 催報告について など
第4回理事会	3月29日	福島テルサ	令和5年度事業計画、 事務局体制について など

10 名義後援等

本市の観光振興に寄与すると認められる事業

事業名	時期	場所	備考
第 17 回花見山フォトコンテスト	3/15～8/31	福島市内	株式会社第一印刷
2022 ふくしま花ウォーク・第 24 回ふくしま吾妻荒川・花見山ツデーマーチ	4/2～3	福島市内	実湧満彩ふくしま路ウォーキング運営委員会
飯坂温泉ミュージックフェスティバル 「おと酔いウォーク 2022」	4/9	飯坂温泉街 7 か所	おと酔いウォーク実行委員会
うさぎふくふく祭り in ふくしま 2022	4/17	アオウゼ	うさぎふくふく祭り in ふくしま実行委員会
第18 回クマガイソウの里まつり	5/2～22	クマガイソウ群生地 (松川町)	水原の自然を守る会
ウォークラリー福島大会 2022	5/22	福島市内	特定非営利活動法人福島市レクリエーション協会
第 22 回しのぶの里フォトコンテスト	～6/30	福島市内	公益財団法人福島市振興公社
福島夏まつり (ふくしま花火大会・福島わらじまつり)	花火大会: 7/30 わらじまつり 8/5～7	福島市内	福島夏まつり委員会
第 68 回全国視覚障害女性研修大会 北海道・東北ブロック(福島大会)	8/31	コラッセふくしま・オンライン	公益社団法人福島県視覚障がい者福祉協会
第 3 回東北希望の襷マラソン福島大会	9/18	あづま総合運動公園 /とうほう・みんなの スタジアム	東北希望の襷マラソン実行委員会
第 11 回小学校ポスター展	10/17～10/23	こむこむ館	非営利活動法人子ども未来クラブ
第 17 回 福島 アプリ de きて！みて！吞んでラリー2022	11/8～10	福島駅前	福島きてみて吞んでラリー 実行委員会
飯坂温泉旅館博～懐かしの調度品展～	11/11～21	旧堀切邸 主屋	いいざか乙和会
ふくしまシルクロードツアー ～プライベートな織物教室編～	11/15～17、 11/21～23 11/25～27	工房おりをり、なか むらや旅館など	福島市フルーツラインエリア観光推進協議会
ふくしま絹の道シンポジウム	12/19	キョウワグループ・ テルサホール (福島テルサ)	福島市フルーツラインエリア観光推進協議会
第 18 回花見山フォトコンテスト	3/5～8/31	福島市内	株式会社第一印刷

令和4年度収支決算報告について

令和4年度 一般社団法人福島市観光コンベンション協会 収支決算書
【令和4年4月1日～令和5年3月31日】

収入総額 794,563,729 円
支出総額 771,144,202 円
差引残高 23,419,527 円

収入の部

(単位：円)

科 目	R3年度 決算額	R4年度 予算額 (a)	R4年度 決算額 (b)	差異 (b)-(a)	摘 要	
1. 会 費	555,000	3,000,000	3,465,000	465,000	内訳	備考
会員会費	555,000	3,000,000	3,465,000	465,000		
2. 委 託 金	24,547,402	3,000,000	41,726,340	38,726,340	内訳	
委 託 金	24,547,402	3,000,000				
			6,553,800	-	①令和4年花見山観光客対応業務委託	
			19,948,500	-	②福島市降雹被災者支援業務委託	
			495,000	-	③ふるさと納税PRIに係るテレビ番組制作対応業務委託	
			4,294,620	-	④福島駅前軽トラ市情報発信事業業務委託	
			718,960	-	⑤定住交流NOTE事業業務委託	
			2,990,460	-	⑥「ちよどい旅ふくしまステイ」周遊促進キャンペーン業務委託	
			1,500,000	-	⑦ロケツーリズム関連情報発信事業業務委託	
			5,225,000	-	⑧看板商品創出事業（ふくしまRISE）	
3. 補 助 金	103,762,805	84,000,000	86,935,000	2,935,000	内訳	
補 助 金	103,762,805	84,000,000				
			84,000,000	-	組織運営補助金	
			2,245,000	-	ワクテン集団職域接種（補助金）	
			690,000	-	福島市周遊スポット魅力アップ支援事業	
4. 収 益 金	468,791,892	96,000,000	420,164,248	324,164,248	内訳	
収 益 金	468,791,892	96,000,000				
			1,357,314	-	案内所物販事業	ももりんグッズ、特産品
			241,128	-	案内所幹旋等事業	宿泊、タクシー、旅行
			47,840	-	案内所バリアフリー事業	車いす貸出、常設物販
			549,784	-	案内所その他収益事業	ももりん着ぐるみ貸出、キャラクター利用料、委託業務、コピー代等
			2,146,181	-	②福島市降雹被災者支援業務委託 果物物産売上	
			5,304,109	-	ワクテン集団職域接種（手数料収入）	ワクテン集団職域接種収益
			337,056,900	-	ふるさと納税業務委託料 商品代/送料（30%）	
			73,460,992	-	ふるさと納税業務委託料 事務手数料（6.4%）	ふるさと納税事業収益
5. 繰 越 金	9,186,501	239,473,846	239,473,846	0	内訳	
繰 越 金	9,186,501	9,186,501	9,186,501	0	繰越金	
	0	230,287,345	230,287,345	0	ふるさと納税業務 商品代/送料（令和5年度分）	
6. 受取寄附金	0	0	110,000	△ 110,000	内訳	
受取寄附金	0	0	110,000	-	バリアフリーツアー解散時寄附金	
7. 雑 収 入	3,247,436	0	2,689,295	2,689,295	内訳	
雑 収 入	3,246,495	0	2,687,620	2,687,620	ツーリズムEXPO出展時の売上、バリアフリーツアーセンター管理費、阪急交通社通販事業など	
	941	0	1,675	1,675	受取利息	
計	610,091,036	425,473,846	794,563,729	△ 369,089,883		

支出の部

(単位：円)

科 目	R3年度 決算額	R4年度 予算額 (a)	R4年度 決算額 (b)	差異 (b) - (a)	摘 要					
1. 事業費	61,420,953	38,229,916	41,047,355	2,817,439	内訳					
補助対象事業	61,420,953	2,380,000	2,602,820	222,820	ガイドマップ等作成事業	継続事業㉞				
		100,000	44,000	△ 56,000	旅行AGTtie-up誘客事業	継続事業㉞				
		300,000	308,920	8,920	コンベンション誘致事業	継続事業㉞				
自主財源事業 (補助対象事業 も含む)	9,087,600	61,420,953	19,594,439	1,506,839	福島市補助事業(先駆的) 自主事業(先駆的)	①仮想と現実のマーケティング融合による誘客促進				
	9,000,000					②2023年を見据えたアジア誘客促進				
	0					674,564	△ 517,288	福島市補助事業(先駆的) 自主事業(先駆的)	③女性来訪者の満足度や消費額を上げるための商品づくり、販売促進	
	1,191,852					963,703	△ 1,606,297	福島市補助事業(先駆的) 自主事業(先駆的)	④来訪者が循環する仕組みづくり	
	960,000					3,524,225	1,588,991	<外貨獲得> デジタル、アナログ、融合型を問わず、消費の個人化に対応してしっかりと稼ぐ仕組みづくり	福島市補助事業(先駆的) 自主事業(先駆的)	⑤デジタル時代の効果的な誘客を支えるデータ収集・分析・共有
	1,610,000					2,713,803	△ 486,197	福島市補助事業(先駆的) 自主事業(先駆的)	⑥MICE(コンベンション等)誘致	
	1,635,234					3,108,758	508,758	福島市補助事業(先駆的) 自主事業(先駆的)	⑦ツーリズムEXPO出展	
	300,000					2,292,476	△ 707,524	福島市補助事業(先駆的) 自主事業(先駆的)	⑧ふるさと納税15億円プロジェクト	
	0					0	△ 300,000	<内発循環> 多様なビジネスモデルや持続的な地域経済循環モデルづくり	福島市補助事業(先駆的) 自主事業(先駆的)	⑨生産者から飲食事業者への果実規格外品供給仕組みづくり
	3,200,000					51,060	△ 1,418,940	福島市補助事業(先駆的) 自主事業(先駆的)	⑩バリアフリーツーリズム	
	2,300,000					500,336	8,336	福島市補助事業(先駆的) 自主事業(先駆的)	⑪関係人口拡大支援	
	300,000					0	0	<関係人口拡大> 消費者、来訪者との関係深化による地域課題の解消や地域価値創出	福島市補助事業(先駆的) 自主事業(先駆的)	⑫域内外の組織や個人との連携支援
	0					203,230	306,399	103,169	福島市補助事業(先駆的) 自主事業(先駆的)	⑬共創の仕組みづくり
	0					3,661,870	3,661,870	0	福島市補助事業(先駆的) 自主事業(先駆的)	⑭先進マーケティング組織(先進DMO)機能強化
	0					699,982	299,982	<先進マーケティング組織(先進DMO)を目指した組織改革>	福島市補助事業(先駆的) 自主事業(先駆的)	
	400,000									

2. 仕入費	405,870,042	0	597,266,715	597,266,715	内訳	備考
仕入費	405,870,042	0	720,460	-	案内所収益事業仕入費	ももりんグッズ、特産品など
			6,331,971	-	【業務委託】①令和4年花見山観光客対応業務委託	
			14,030,611	-	【業務委託】②福島市降電被災者支援業務委託	
			106,448	-	【業務委託】③ふるさと納税PRIに係るテレビ番組制作対応業務委託	
			4,429,740	-	【業務委託】④福島駅前軽トラ市情報発信事業業務委託	
			683,012	-	【業務委託】⑤定住交流NOTE事業業務委託	
			2,545,620	-	【業務委託】⑥「ちようどいい旅ふくしまステイ」周遊促進キャンペーン業務委託	
			0	-	【業務委託】⑦ロケツーツム関連情報発信事業業務委託※3-4事務局業務委託費にて計上	
			4,994,636	-	【業務委託】⑧看板商品創出事業（ふくしまRISE）	
353,780	-	阪急交通社	オンラインツアー、通販事業			
563,070,437	-	ふるさと納税業務委託料 商品代/送料（30%）	ふるさと納税事業収益			
3. 管理費	83,908,357	97,779,553	96,105,302	△ 1,674,251	内訳	備考
事務局	83,908,357	88,724,553	86,925,744	△ 1,798,809	事務局合計	
1 職員人件費（コア事業）		32,515,486	34,040,029	1,524,543		5名分
2 職員人件費（一般）		21,755,598	22,070,738	315,140	職員給与・時間外超過勤務手当・交通費	5名分（ふるさと納税を除く）
3 職員人件費（パート）		3,789,469	1,206,514	△ 2,582,955		3名分（ふるさと納税担当を除く）
4 業務委託費		11,700,000	10,432,100	△ 1,267,900	専門職員業務委託費4名（金澤、熊坂、三宅、高橋ちひろ）	
5 退職引当金		1,776,000	1,711,000	△ 65,000	令和4年度退職給与引当金	
6 退職金		0	754,000	754,000	令和4年度退職給付金	
7 会議費		200,000	351,924	151,924	総会、理事会、配布資料印刷代	
8 旅費交通費		400,000	225,646	△ 174,354	旅費、タクシー代	
9 渉外費		50,000	69,742	19,742	各種慶弔費等	
10 広告宣伝費		56,000	465,600	409,600	新聞、雑誌広告料	
11 通信運搬費		1,300,000	1,268,208	△ 31,792	電話料、郵送料	
12 消耗品費		1,550,000	1,744,040	194,040	事務用品等	
13 新聞図書費		100,000	12,600	△ 87,400	民報・民友、CJ福島	
14 修繕費		125,000	268,725	143,725	空調設備保守、車検整備	
15 印刷製本費		140,000	364,320	224,320	総会資料印刷代	
16 燃料費		100,000	117,014	17,014	ガソリン代	
17 光熱水料費		917,000	302,727	△ 614,273	電気代等	
18 賃借料		2,000,000	1,653,789	△ 346,211	リース代等	
19 地代家賃		2,500,000	2,349,600	△ 150,400	事務所家賃等	
20 火災保険料		240,000	639,580	399,580	火災保険、自動車保険	
21 諸謝金費		1,700,000	1,504,000	△ 196,000	顧問契約料（弁護士・税理士・公認会計士）	
22 租税公課		1,400,000	2,526,452	1,126,452	消費税・法人税・地方法人税・住民税・事業税・登録印紙代、収入印紙代等	
23 負担金		2,700,000	1,096,504	△ 1,603,496	各会負担金、式典会費、研修受講料	
24 委託費		30,000	0	△ 30,000	委託費	
25 支払手数料		1,680,000	1,740,592	60,592	振込手数料等	
26 寄付金		0	10,000	10,000	寄付金	
27 支払利息		0	0	0	支払利息等	
28 雑支出	0	300	300	支払利息等		
案内所		9,055,000	9,179,558	124,558	案内所合計	
29 通信運搬費		400,000	422,604	22,604	電話料、郵送料	
30 消耗品費		450,000	526,228	76,228	事務用品等	
31 新聞図書費		90,000	80,110	△ 9,890	民報・民友、CJ福島	
32 修繕費		285,000	317,898	32,898	空調設備保守	
33 光熱水料費		950,000	1,038,331	88,331	電気代・水道代等	
34 賃借料		700,000	700,488	488	リース代等	
35 地代家賃		5,800,000	5,662,800	△ 137,200	案内所家賃等	
36 委託料		60,000	168,300	108,300	委託費	
37 支払手数料		320,000	258,911	△ 61,089	振込手数料等	
38 雑支出		0	3,888	3,888	雑支出	
4. ふるさと納税事業管理費	46,253,901	43,527,000	34,678,830	△ 8,848,170	内訳	
管理費	46,253,901	43,527,000	34,678,830	△ 8,848,170	ふるさと納税事業管理費	ふるさと納税担当人件費を含む
5. 案内所改修費	0	2,186,501	2,046,000	△ 140,501	内訳	
修繕費	0	2,186,501	2,046,000	△ 140,501	観光案内所修繕	
6. 予備費	0	0	0	0	内訳	
予備費	0	0	0	0		
計	597,453,253	181,722,970	771,144,202	589,421,232		
		最終損益 （繰越額）	23,419,527			

令和4年度 一般社団法人福島市観光コンベンション協会 収支決算書
《ふるさと納税事業》
【令和4年4月1日～令和5年3月31日】

収入総額 640,806,399 円
支出総額 597,749,267 円
差引残高 43,057,132 円

収入

(単位：円)

科目	R3年度 決算額	R4年度 期初予算額 (a)	R4年度 決算額 (b)	差異 (b)-(a)	摘要	備考
1. 返礼品関連 (福島市から入金)	446,169,088	546,000,000	410,517,892	△ 135,482,108	寄附総額 1,147,828,000円	
1) 収入	435,911,648	96,000,000	73,460,992	△ 22,539,008	業務委託料 (令和4年4月～令和5年3月)	事務手数料=6.4%
2) 収入		450,000,000	337,056,900	△ 112,943,100		返礼品代金=30%
3) 収入	10,257,440	0	0	0	JTBチョイスポイント繰越分	※R3年度で終了
2. 繰越金	0	230,287,345	230,287,345	0		
1) 繰越金	-	166,664,809	166,664,809	0	返礼品代金	
2) 繰越金	-	45,949,686	45,949,686	0	配送料	
3) 繰越金	-	17,672,850	17,672,850	0	チョイスポイント未使用分	
3. 雑収入	941	0	1,162	1,162		
1) 雑収入	941	0	1,162	1,162	受取利息	
計	446,170,029	776,287,345	640,806,399	△ 135,480,946		

支出

(単位：円)

科目	R3年度 決算額	R4年度 期初予算額 (a)	R4年度 決算額 (b)	差異 (b)-(a)	摘要	備考
1. 返礼品関連	381,955,970	450,000,000	563,070,437	113,070,437		
1) 返礼品代金 (発送済み)	124,036,625		254,525,564		令和4年度に発送済み	
2) 返礼品代金 (発送予定)	166,664,809	450,000,000	176,450,896	113,070,437	令和5年度に発送予定	
3) 配送料 (支出済み)	27,632,000		63,274,035		令和4年度に支出済み	
4) 配送料 (支出予定)	45,949,686		50,143,742		令和5年度に支出予定	
5) チョイスポイント未使用分	17,672,850	0	18,676,200	18,676,200	令和5年度に支出予定	
2. 管理費	46,253,901	59,027,000	34,678,830	△ 24,348,170		
1) 給料手当費	13,430,531	12,500,000	12,432,229	△ 67,771	(ふるさと納税担当5名分) 職員給与・社会保険料・時間外超過勤務手当	
2) 法定福利費						
3) 退職給付費	0	0	0	0		
4) 旅費交通費	-	0	850	850		
5) 広告宣伝費	2,462,860	2,300,000	99,198	△ 2,200,802	新聞、雑誌広告料、WEB広告等	
6) 通信運搬費	4,451,884	14,735,200	4,375,077	△ 10,360,123	電話料、郵送料等	
7) 消耗品費	1,818,649	3,375,000	1,168,346	△ 2,206,654	事務用品、寄附者向けアンケート景品等	
8) 什器備品費	-	0	125,000	125,000	ノートパソコン	
9) 修繕費	-	0	82,500	82,500		
10) 印刷製本費	736,560	450,000	963,006	513,006	封筒作成費等	
11) 賃借料	757,020	1,560,000	1,531,800	△ 28,200	封入封緘機リース	
12) 租税公課	3,269,700	3,000,000	2,996,148	△ 3,852	消費税など	
13) 委託費	3,622,300	2,400,000	3,050,300	650,300	プロモーション費用/RPAサブスクリプション	
14) 支払手数料	7,067,955	7,829,567	7,282,787	△ 546,780	振込手数料等/ヤマト運輸 WEB出荷コントロールサービス	
15) 雑費	218,333	1,030,000	110,889	△ 919,111	クレーム対応費用	商品再発送代
16) 法人税	8,418,109	9,700,000	460,700	△ 9,239,300	法人税など	
17) その他	0	147,233	0	△ 147,233		
計	428,209,871	509,027,000	597,749,267	88,722,267		
		ふるさと納税事業 (最終収支)	43,057,132			

令和4年度 福島市観光コンベンション協会 決算書解説

1. 決算書作成に関する基本的な考え方

受注して 3 年目となる「ふるさと納税」事業は、引き続き手数料収入の拡大が見込まれることから、全体収支とは別に、単体でも計上しています(別紙 1)

2. 収入の部について

2.1 会費について

過去 2 年間はコロナ禍による事業者支援のため、経営規模の大小にかかわらず公益団体以外の会費を免除しておりましたが、コロナ禍も落ち着きつつあることから会費徴収を再開させていただき 3,465 千円となりました。

2.2 委託金について

委託事業の 8 割以上は福島市からの受注となります。春先の降雹でダメージを受けた果樹関連事業者の支援を目的とした「福島市降雹被災者支援業務」、軽トラ市情報発信のための「福島駅前軽トラ市情報発信事業」、その他、いいざか RISE からの「看板商品創出事業」等の受注により、昨年度より 17,178 千円多い 41,726 千円となりました。

2.3 補助金について

福島市組織運営補助金は「ふるさと納税」事業運営による自主財源の増加に伴い毎年減少しております。今年度は前年より 2,294 千円減額の 84,000 千円となりました。補助金全体では「ワクチン集団職域接種」や「福島市周遊スポット魅力アップ支援事業」により、86,935 千円となりましたが昨年度より 16,827 千円減少しています。主な原因は、観光庁補助事業が前年度終了したためです。

2.4 収益金について

観光案内所関連事業では、昨年度より 774 千円多い 2,196 千円となりました。また、業務委託「福島市降雹被災者支援業務」により、2,146 千円の収益がありました。収益金全体では 420,164 千円となりますが、昨年度より 48,627 千円減少しています。主な原因は、「ふるさと納税」事業や「ワクチン集団職域接種」事業の手数料収入が減少したためです。

2.5 繰越金について

令和 4 年度の「ふるさと納税」による収入増の影響から、239,473 千円となりました。

2.6 雑収入について

民間などからの細かな業務を例外なく受注することで、2,689 千円となりました。

3. 支出の部について

3.1 補助事業(継続)について

アフターコロナを見据えて旅行やコンベンション需要が回復傾向にあり、3 事業合計で 2,955 千円となりました。

3.2 自主財源事業(先駆的福島市補助事業/先駆的自主事業)について

「福島市観光ノート」や「福島市観光案内所」の運営、「ふくしまピーチホリデイ」の実施、「台湾デジタル

誘客」や「デジタルアンケート調査」など実施した事業は多岐に及びます。合計で 41,047 千円となりましたが、全体では昨年度より 20,373 千円減少しています。その主な原因は観光庁補助事業が終了したこと、及びワクチン集団職域事業が縮小したためです。

3.3 仕入費について

597,266 千円となり昨年度より 191,396 千円増加しています。「ふるさと納税」や「委託事業」執行経費が大きく増えました。なお、委託業務における粗利率は約 13%となり、昨年度の 5%より上昇しています。

3.4 職員人件費について(コア事業、一般、パート)

計画していた職員採用(パート)が進まず、予算額を 743 千円下回る 58,060 千円となりました。た。結果的に予定より少ない職員で今年度目標 ROI を達成することができましたが、職員の労務管理面からも早急に補充する必要があります。

3.5 業務委託費

専門職員業務委託費(4名分)として 10,432 千円となりましたが、予算額を 1,267 千円下回っています。受託者の都合により契約期間が短縮されたことが原因です。

3.6 退職金引当金

ほぼ予定通りです。

3.7 退職金

退職した職員に対して合計 754 千円を支払いました。

3.8 会議費について

コロナが落ち着いてきたこともあり、特に年度後半は感染防止対策を施したうえで、リアル開催する会議が増えたため、会場費等が増えて 351 千円となりました。

3.9 旅費交通費について

コロナが落ち着いてきたこともあり、公共交通機関を使った通勤が増えたため、225 千円となりました。予算額より 174 千円少ない額です。

3.10 渉外費について

慶弔規定に基づいて対処し、69 千円となりました。

3.11 広告宣伝費について

主に地方紙に対する協賛活動の一環です。道の駅オープンや豊橋市都市間協定締結など、福島市観光に重要なイベントが続いたこともあり、予算額を 409 千円上回り 465 千円となりました。

3.12 通信運搬費について(事務局と案内所の合計)

ほぼ例年通りです。

3.13 消耗品費について(事務局と案内所の合計)

ほぼ例年通りです。

3.14 新聞図書費について(事務局と案内所の合計)

必要な情報源を見直して新聞や情報誌の定期購読を一時休止したため予算額を 97 千円下回り、92 千円となりました。

3.15 修繕費について

観光案内所の非常通報装置を設置などにより予算額を 176 千円上回り 586 千円となりました。

3.16 印刷製本費

3年ぶりに通常総会を開催したため総会資料を外注したこともあり予算額を224千円上回り364千円となりました。

3.17 燃料費について

ほぼ例年通りです。

3.18 光熱水道費について(事務局と案内所の合計)

節電や節水を徹底したこともあり予算額より525千円少ない1,341千円となりました。ただ、ほぼ例年通りの金額です。

3.19 賃貸料、地代家賃について(事務局と案内所の合計)

ほぼ例年通りです。

3.20 火災保険料について

一昨年度の当会取扱額が大きく増えたこと、また、頻発する大地震に対する備えとして加入するビジネス保険の補償内容を見直したため、予算額を399千円上回り639千円となりました。

3.21 諸謝金費について

特別監査の検査日数が予定より短かったため予算を196千円下回る1,504千円となりました。

3.22 租税公課について

委託業務等が増加したことで事業収入が増加したため、昨年度より1,126千円多い2,526千円となりました。なお、「ふるさと納税」事業が3,456千円(消費税2,996千円、法人税460千円)となるため、全体では5,982千円となります。

3.23 負担金について

昨年度を1,603千円下回る1,096千円となりました。東口駅前再開発により、毎年負担していた「もりんビジョン事業」が終了ことによりです。

3.24 委託費について(事務局と案内所の合計)

業務用不燃物の廃棄を業者に依頼したこともあり予算額を78千円上回り168千円となりました。

3.25 支払手数料について

ほぼ例年通りです。

3.26 寄付金について

地域貢献として、事務局が所在するエリアの小学校創立記念行事に10千円寄付しました。

3.27 支払利息、雑支出について

ほぼ例年通りです。

4 繰越予定額について

「ふるさと納税」事業を含めた全体収支は23,419千円の黒字となります。昨年度実施できなかったオウンドメディア「福島市観光ノート」改修やクラウド電話の導入、職員研修(ふるさと納税先進地視察)等に充当したいと考えており、その取扱いについては市当局と協議中です。

5 その他

・今年度の「ふるさと納税」手数料収入は73,460千円となり、補助金収入86,935千円に対して約

84%を占めるまでになりました。「ふるさと納税」は、年末に寄付のピークを迎えるため、手数料収入が確定するのは年明けになってからとなります。「ふるさと納税」手数料収入を原資とした地域貢献活動を効果的に継続するためにも、年末商戦を迎える前に、精度の高い予測を立てること必要があると考えます。

・急激に取扱額が増加したことによる金銭事故防止や納税業務を担う組織としての信頼性向上を目的とする経理統制及び内部牽制の取組として、外部特別監査制度を創設しており今回の監査は通算 3 回目となります。(毎年 1 回実施)

正味財産増減計算書

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日（決算）まで

法人名：一般社団法人福島市観光コンベンション協会
事業名：事業全体

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
經常増減の部			
經常収益			
受取会費	3,465,000	555,000	2,910,000
正会員受取会費	3,465,000	555,000	2,910,000
事業収益	125,115,309	122,799,581	2,315,728
事業収入	125,115,309	122,799,581	2,315,728
受取補助金等	86,935,000	92,287,006	△5,352,006
受取地方公共団体補助金	86,935,000	92,287,006	△5,352,006
受取寄付金	110,000	0	110,000
受取寄付金	110,000		110,000
雑収益	6,450,001	35,570,801	△29,120,800
受取利息	1,675	1,437	238
雑収益	6,448,326	35,569,364	△29,121,038
經常収益計	222,075,310	251,212,388	△29,137,078
經常費用			
事業費	124,054,866	133,223,592	△9,168,726
仕入	5,915,214	792,019	5,123,195
給料手当	4,513,224	2,909,890	1,603,334
福利厚生費		578,440	△578,440
広告宣伝費	10,843,520	5,684,410	5,159,110
旅費交通費	3,013,237	2,494,372	518,865
通信搬入費	20,505,727	19,506,200	999,527
消耗品費	5,523,006	10,398,006	△4,875,000
新聞図書費	144,900	145,318	△418
新修繕費	400,398	727,098	△326,700
印刷製本費	6,622,897	5,496,380	1,126,517
燃料費	15,133	9,061	6,072
光熱水料費	1,040,260	971,214	69,046
賃借料	5,006,243	12,017,360	△7,011,117
保険料	1,652	21,285	△19,633
諸謝金	8,124,386	13,771,740	△5,647,354
租税公課	4,724,002	6,594,365	△1,870,363
支払負担金	62,000		62,000
支払助成金		2,243,846	△2,243,846
支払託手数料	35,831,826	37,998,841	△2,167,015
支払手数料	11,633,164	10,323,275	1,309,889
雑費	134,077	540,472	△406,395
管理費	96,998,191	93,910,749	3,087,442
給料手当	61,662,383	58,577,615	3,084,768
退職給付費用	1,711,000	1,551,000	160,000
福利厚生費	177,920	652,125	△474,205
法定福利費	8,663,207	8,191,601	471,606
会議費	716,244	250,193	466,051
旅費交通費	225,646	568,144	△342,498
渉外費	69,742	24,398	45,344
通信運搬費	5,407,324	5,863,070	△455,746
減価償却費	1,496,876	268,916	1,227,960
消耗品費	1,744,040	1,603,062	140,978
新聞図書費	12,600	144,240	△131,640
新修繕費	268,725	115,807	152,918
燃料費	117,014	105,221	11,793
光熱水料費	302,727	325,556	△22,829
賃借料	1,653,789	1,611,738	42,051

正味財産増減計算書

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日（決算）まで

法人名：一般社団法人福島市観光コンベンション協会

事業名：事業全体

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
地 代 家 賃	8,074,508	8,151,000	△76,492
保 険 料	639,580	339,490	300,090
諸 謝 金	1,504,000	1,633,500	△129,500
租 税 公 課	291,970	48,850	243,120
支 払 手 数 料	1,152,092	1,150,704	1,388
支 払 負 担 金 (管)	1,096,504	2,400,004	△1,303,500
支 払 寄 付 金	10,000		10,000
支 払 利 息		333,355	△333,355
雑 費	300	1,160	△860
経 常 費 用 計	221,053,057	227,134,341	△6,081,284
評 価 損 益 等 調 整 前 当 期 経 常 増 減 額	1,022,253	24,078,047	△23,055,794
評 価 損 益 等 計	0	0	0
当 期 経 常 増 減 額	1,022,253	24,078,047	△23,055,794
経 常 外 増 減 の 部			
経 常 外 収 益			
経 常 外 収 益 計	0	0	0
経 常 外 費 用			
固 定 資 産 売 却 損	1	0	1
固 定 資 産 除 却 損	1		1
経 常 外 費 用 計	1	0	1
当 期 経 常 外 増 減 額	△1	0	△1
他 会 計 振 替 前 当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	1,022,252	24,078,047	△23,055,795
他 会 計 振 替 額	0	△309,260	309,260
税 引 前 当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	1,022,252	23,768,787	△22,746,535
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	1,345,300	8,440,900	△7,095,600
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△323,048	15,327,887	△15,650,935
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	22,527,639	7,199,752	15,327,887
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	22,204,591	22,527,639	△323,048
II 指 定 正 味 財 産 増 減 の 部			
受 取 負 担 金	0	150,000	△150,000
受 取 負 担 金		150,000	△150,000
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	150,000	△150,000
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	5,583,117	5,433,117	150,000
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	5,583,117	5,583,117	0
III 正 味 財 産 期 末 残 高	27,787,708	28,110,756	△323,048

貸借対照表

令和 5 年 3 月 31 日現在 (決算)

法人名：一般社団法人福島市観光コンベンション協会

事業名：事業全体

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
流動資産			
現金預金	259,387,374	264,014,733	△4,627,359
現金	56,590	55,680	910
普通預金	259,330,784	263,959,053	△4,628,269
未収金	50,918,480	53,022,121	△2,103,641
前払金	1,245,802	1,323,510	△77,708
棚卸資産	1,301,013	1,632,629	△331,616
流動資産合計	312,852,669	319,992,993	△7,140,324
固定資産			
その他固定資産			
建物附属設備	1,919,652	36,121	1,883,531
車両運搬具	1	1	
什器備品	554,028	40,318	513,710
敷金	2,654,400	2,641,200	13,200
保証金	2,200,000	2,200,000	
出資金	735,000	735,000	
その他の固定資産	1,058,135	285,103	773,032
その他固定資産合計	9,121,216	5,937,743	3,183,473
固定資産合計	9,121,216	5,937,743	3,183,473
資産合計	321,973,885	325,930,736	△3,956,851
II 負債の部			
流動負債			
未払金	23,192,880	24,380,633	△1,187,753
未払法人税等	1,345,300	8,440,900	△7,095,600
預り金	264,049,997	232,150,947	31,899,050
短期借入金		22,999,000	△22,999,000
未払消費税等		5,060,500	△5,060,500
流動負債合計	288,588,177	293,031,980	△4,443,803
固定負債			
退職給付引当金	5,598,000	4,788,000	810,000
固定負債合計	5,598,000	4,788,000	810,000
負債合計	294,186,177	297,819,980	△3,633,803
III 正味財産の部			
指定正味財産			
地方公共団体補助金	4,758,117	4,758,117	
負担金	150,000	150,000	
寄付金	675,000	675,000	
指定正味財産合計	5,583,117	5,583,117	0
一般正味財産	22,204,591	22,527,639	△323,048
正味財産合計	27,787,708	28,110,756	△323,048
負債及び正味財産合計	321,973,885	325,930,736	△3,956,851

収 支 計 算 書

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日（決算）まで

法人名：一般社団法人福島市観光コンベンション協会

事業名：事業全体

(単位： 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
I 事業活動収支の部				
事業活動収入				
会費収入	3,000,000	3,465,000	△465,000	
正会員会費収入	3,000,000	3,465,000	△465,000	
事業収入	99,000,000	125,115,309	△26,115,309	
事業収入	99,000,000	125,115,309	△26,115,309	
補助金等収入	84,000,000	86,935,000	△2,935,000	
地方公共団体補助金収入	84,000,000	86,935,000	△2,935,000	
寄付金収入	0	110,000	△110,000	
寄付金収入	0	110,000	△110,000	
雑収入	0	6,450,001	△6,450,001	
受取利息収入	0	1,675	△1,675	
雑収入	0	6,448,326	△6,448,326	
他会計からの繰入金収入	0	56,152,220	△56,152,220	
他会計からの繰入金収入	0	56,152,220	△56,152,220	
事業活動収入計	186,000,000	278,227,530	△92,227,530	
事業活動支出				
事業費支出	97,437,417	124,054,866	△26,617,449	
仕当手当入		5,915,214	△5,915,214	
給料手当支出	3,330,000	4,513,224	△1,183,224	
事業費支出	147,233		147,233	
広告宣伝費	6,316,000	10,843,520	△4,527,520	
旅費交通費支出		3,013,237	△3,013,237	
通信運搬費支出	14,985,200	20,505,727	△5,520,527	
消耗品費支出	3,825,000	5,523,006	△1,698,006	
新聞図書費	90,000	144,900	△54,900	
修繕費支出	2,471,501	400,398	2,071,103	
印刷製本費支出	2,830,000	6,622,897	△3,792,897	
燃料費支出		15,133	△15,133	
光熱水料費支出	683,000	1,040,260	△357,260	
賃借料支出	2,260,000	5,006,243	△2,746,243	
保険料支出		1,652	△1,652	
諸謝金支出		8,124,386	△8,124,386	
租税公課支出	9,600,000	4,724,002	4,875,998	
負担金支出		62,000	△62,000	
委託費支出	42,749,916	35,831,826	6,918,090	
支払手数料	8,149,567	11,633,164	△3,483,597	
雑支出		134,077	△134,077	
管理費支出	96,619,084	94,691,315	1,927,769	
給料手当支出	71,491,084	61,662,383	9,828,701	
退職金支出	1,776,000		1,776,000	
退職給付支出		901,000	△901,000	
福利厚生費支出		177,920	△177,920	
法定福利費		8,663,207	△8,663,207	
会議費支出	200,000	716,244	△516,244	
旅費交通費支出	400,000	225,646	174,354	
渉外費	50,000	69,742	△19,742	
通信運搬費支出	1,750,000	5,407,324	△3,657,324	
消耗品費支出	1,550,000	1,744,040	△194,040	
新聞図書費	100,000	12,600	87,400	
修繕費支出	125,000	268,725	△143,725	
印刷製本費支出	140,000		140,000	
燃料費支出	100,000	117,014	△17,014	
光熱水料費支出	917,000	302,727	614,273	

収 支 計 算 書

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日（決算）まで

法人名：一般社団法人福島市観光コンベンション協会

事業名：事業全体

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
賃借料支出	2,000,000	1,653,789	346,211	
地代家賃	8,300,000	8,074,508	225,492	
火災保険料支出	240,000	639,580	△399,580	
諸謝金支出	1,700,000	1,504,000	196,000	
租税公課支出	1,400,000	291,970	1,108,030	
負担金支出	2,700,000	1,096,504	1,603,496	
支払手数料	1,680,000	1,152,092	527,908	
寄付金支出		10,000	△10,000	
雑支出		300	△300	
他会計への繰入金支出	100,000	57,497,520	△57,397,520	
他会計への繰入金支出		56,152,220	△56,152,220	
法人税、住民税等	100,000	1,345,300	△1,245,300	
事業活動支出計	194,156,501	276,243,701	△82,087,200	
事業活動収支差額	△8,156,501	1,983,829	△10,140,330	
II 投資活動収支の部				
投資活動収入				
固定資産売却収入	0	1,148,200	△1,148,200	
什器備品売却収入		550,000	△550,000	
その他の固定資産売却収入		598,200	△598,200	
投資活動収入計	0	1,148,200	△1,148,200	
投資活動支出				
固定資産取得支出	0	5,815,350	△5,815,350	
建物附属設備取得支出		2,589,950	△2,589,950	
什器備品購入支出		1,100,000	△1,100,000	
その他の固定資産購入支出		2,125,400	△2,125,400	
敷金・保証金支出	0	13,200	△13,200	
敷金支出		13,200	△13,200	
投資活動支出計	0	5,828,550	△5,828,550	
投資活動収支差額	0	△4,680,350	4,680,350	
III 財務活動収支の部				
財務活動支出				
借入金返済支出	0	22,999,000	△22,999,000	
短期借入金返済支出		22,999,000	△22,999,000	
財務活動支出計	0	22,999,000	△22,999,000	
財務活動収支差額	0	△22,999,000	22,999,000	
IV 予備費支出				
当期収支差額	△8,156,501	△25,695,521	17,539,020	
前期繰越収支差額	0	49,960,013	△49,960,013	
次期繰越収支差額	△8,156,501	24,264,492	△32,420,993	

正味財産増減計算書

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日（決算）まで

法人名：一般社団法人福島市観光コンベンション協会
 事業名：収益事業

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
經常増減の部			
經常収益			
事業収益	79,327,811	98,186,529	△18,858,718
事業収入	79,327,811	98,186,529	△18,858,718
受取補助金等	2,245,000	5,993,000	△3,748,000
受取地方公共団体補助金	2,245,000	5,993,000	△3,748,000
雑収益	5,751,106	21,232,137	△15,481,031
受取利息	1,423	1,139	284
雑収益計	5,749,683	21,230,998	△15,481,315
經常収益計	87,323,917	125,411,666	△38,087,749
經常費用			
事業費用	45,482,094	77,677,437	△32,195,343
仕入	1,030,263	792,019	238,244
給料手当	632,200	464,250	167,950
福利厚生費		578,440	△578,440
広告宣伝費	99,198	3,832,360	△3,733,162
旅費交通費	144,692	2,102,593	△1,957,901
通信運搬費	17,301,501	18,927,503	△1,626,002
消耗品費	641,134	8,956,690	△8,315,556
新聞図書費		150	△150
修繕費	82,500	88,000	△5,500
印刷製本費	963,006	2,939,397	△1,976,391
光熱水料費		13,750	△13,750
賃借料	1,534,220	7,444,357	△5,910,137
保険料		16,790	△16,790
諸謝金	5,741,500	9,574,240	△3,832,740
租税公課	3,484,016	4,768,372	△1,284,356
支払助成金		1,463,846	△1,463,846
支払託費	6,050,300	7,200,424	△1,150,124
支払手数料	7,652,275	8,031,484	△379,209
雑費	125,289	482,772	△357,483
管理費	34,199,938	21,090,721	13,109,217
給料手当	26,813,267	15,407,767	11,405,500
法定福利費	3,121,370	989,464	2,131,906
通信運搬費	4,103,672	4,451,884	△348,212
減価償却費	161,629	119,962	41,667
支払利息		121,644	△121,644
經常費用計	79,682,032	98,768,158	△19,086,126
評価損益等調整前当期經常増減額	7,641,885	26,643,508	△19,001,623
評価損益等計	0	0	0
当期經常増減額	7,641,885	26,643,508	△19,001,623
經常外増減の部			
經常外収益			
經常外収益計	0	0	0
經常外費用			
經常外費用計	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	7,641,885	26,643,508	△19,001,623
他会計振替額	0	30,000	△30,000
税引前当期一般正味財産増減額	7,641,885	26,673,508	△19,031,623
法人税、住民税及び事業税	1,345,300	8,440,900	△7,095,600
当期一般正味財産増減額	6,296,585	18,232,608	△11,936,023
一般正味財産期首残高	42,080,349	23,847,741	18,232,608

正味財産増減計算書

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日（決算）まで

法人名：一般社団法人福島市観光コンベンション協会

事業名：収益事業

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
一般正味財産期末残高	48,376,934	42,080,349	6,296,585
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	48,376,934	42,080,349	6,296,585

貸借対照表

令和 5 年 3 月 31 日現在 (決算)

法人名：一般社団法人福島市観光コンベンション協会
事業名：収益事業

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
流動資産			
現金預金	248,461,961	263,025,269	△14,563,308
現金	56,590	55,680	910
普通預金	248,405,371	262,969,589	△14,564,218
仮払金	△2,860		△2,860
未収金	26,421,541	47,335,262	△20,913,721
前払金	60,500	133,100	△72,600
棚卸資産	1,301,013	1,632,629	△331,616
他会計貸借勘定	41,607,476	△11,296,546	52,904,022
流動資産合計	317,849,631	300,829,714	17,019,917
固定資産			
その他固定資産			
その他の固定資産	253,614	290,243	△36,629
その他固定資産合計	253,614	290,243	△36,629
固定資産合計	253,614	290,243	△36,629
資産合計	318,103,245	301,119,957	16,983,288
II 負債の部			
流動負債			
未払金	5,760,197	8,888,537	△3,128,340
未払法人税等	1,345,300	8,440,900	△7,095,600
預り金	262,620,814	230,440,871	32,179,943
短期借入金		8,000,000	△8,000,000
未払消費税等		3,269,300	△3,269,300
流動負債合計	269,726,311	259,039,608	10,686,703
負債合計	269,726,311	259,039,608	10,686,703
III 正味財産の部			
一般正味財産			
正味財産合計	48,376,934	42,080,349	6,296,585
負債及び正味財産合計	318,103,245	301,119,957	16,983,288

収 支 計 算 書

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日（決算）まで

法人名：一般社団法人福島市観光コンベンション協会

事業名：収益事業

(単位： 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
I 事業活動収支の部				
事業活動収入				
事業収入	96,000,000	79,327,811	16,672,189	
事業収入	96,000,000	79,327,811	16,672,189	
補助金等収入	0	2,245,000	△2,245,000	
地方公共団体補助金収入		2,245,000	△2,245,000	
雑収入	0	5,751,106	△5,751,106	
受取利息収入		1,423	△1,423	
雑収入		5,749,683	△5,749,683	
事業活動収入計	96,000,000	87,323,917	8,676,083	
事業活動支出				
事業費支出	42,397,000	45,482,094	△3,085,094	
仕入		1,030,263	△1,030,263	
給料手当支出		632,200	△632,200	
事業費支出	147,233		147,233	
広告宣伝費	2,300,000	99,198	2,200,802	
旅費交通費支出		144,692	△144,692	
通信運搬費支出	14,735,200	17,301,501	△2,566,301	
消耗品費支出	3,375,000	641,134	2,733,866	
修繕費支出		82,500	△82,500	
印刷製本費支出	450,000	963,006	△513,006	
賃借料支出	1,560,000	1,534,220	25,780	
諸謝金支出		5,741,500	△5,741,500	
租税公課支出	9,600,000	3,484,016	6,115,984	
委託費支出	2,400,000	6,050,300	△3,650,300	
支払手数料	7,829,567	7,652,275	177,292	
雑支出		125,289	△125,289	
管理費支出	0	34,038,309	△34,038,309	
給料手当支出		26,813,267	△26,813,267	
法定福利費		3,121,370	△3,121,370	
通信運搬費支出		4,103,672	△4,103,672	
他会計への繰入金支出	100,000	1,345,300	△1,245,300	
法人税、住民税等	100,000	1,345,300	△1,245,300	
事業活動支出計	42,497,000	80,865,703	△38,368,703	
事業活動収支差額	53,503,000	6,458,214	47,044,786	
II 投資活動収支の部				
投資活動支出				
固定資産取得支出	0	125,000	△125,000	
その他の固定資産購入支出		125,000	△125,000	
投資活動支出計	0	125,000	△125,000	
投資活動収支差額	0	△125,000	125,000	
III 財務活動収支の部				
財務活動支出				
借入金返済支出	0	8,000,000	△8,000,000	
短期借入金返済支出		8,000,000	△8,000,000	
財務活動支出計	0	8,000,000	△8,000,000	
財務活動収支差額	0	△8,000,000	8,000,000	
IV 予備費支出				
当期収支差額	53,503,000	△1,666,786	55,169,786	
前期繰越収支差額	0	49,790,106	△49,790,106	
次期繰越収支差額	53,503,000	48,123,320	5,379,680	

財 産 目 録

令和 5 年 3 月 31 日現在 (決算)

法人名：一般社団法人福島市観光コンベンション協会
事業名：事業全体

(単位： 円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流 動 資 産)			
現金	手元有り高		56,590
普通預金	東邦銀行西福島支店	438365	10,693,723
	東邦銀行西福島支店	440165	4,437,621
	東邦銀行西福島支店	501873	243,935,207
	東邦銀行西福島支店	496632	231,690
	ゆうちょ銀行	18290-17736251	32,543
未収金	福島市	補助金. 委託料	50,342,220
	その他	会費. 幹旋手数料. 確定消費税他	576,260
前払金	東北総合サービス(株)	4月分家賃. 駐車料金	471,900
	(株)エム設備設計事務	4月分家賃. 駐車料金	217,800
	進和ビジネス(株)	訪問修理サービス	60,500
	その他		495,602
棚卸資産	ももりんグッズ		1,301,013
流動資産合計			312,852,669
(固 定 資 産) その他固定資産			
建物附属設備	事務所	事務所工事, 自動ドア, 設備工事	1,919,652
車両運搬具	サクシード		1
什器備品	耐火金庫, プリンター		554,028
敷金	東北総合サービス(株)	事務所敷金	2,145,000
	酪農会館	事務所敷金	483,000
	(株)スワローツアー	駐車場敷金	26,400
保証金	(社)全国旅行業協会	共済業務保証金	2,200,000
出資金	(株)イノベーションネットワーク	2株	100,000
	福島市観光開発(株)	176株	575,000
	福島県旅行業協組	1口	50,000
	福島中小企業労務	1口	10,000
その他の固定資産	一括償却資産	パソコン他	1,058,135
固定資産合計			9,121,216
資産合計			321,973,885
(流 動 負 債)			
未払金	ふるさと納税事業者	返礼品代	2,169,553
	その他	給料. 印刷物・事務用・消耗品他	21,023,327
未払法人税等	福島税務署 他	確定法人税. 県民税. 市民税	1,345,300
預り金	商品券	宿泊補助券	310,000
	従業員	社会保険料. 所得税. 住民税	1,272,709
	ふるさと納税	未発送返礼品. 発送代. ポイント代	262,467,288
流動負債合計			288,588,177
(固 定 負 債)			
	退職給付引当金		5,598,000
固定負債合計			5,598,000
負債合計			294,186,177
正味財産			27,787,708

財務諸表に対する注記

法人名：一般社団法人福島市観光コンベンション協会
事業名：事業全体

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし

2. 重要な会計方針

(1) 会計方針

「公益法人会計基準」（平成20年12月1日 内閣府公益認定等委員会）を採用している。

(2) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券
取得価額によっている。

(3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法によっている。

(4) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定率法（ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物、平成28年4月1日以降に取得した附属設備、構築物は定額法）を採用しています。
無形固定資産 定額法によっている。

(5) 引当金の計上基準

該当なし

(6) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(7) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 会計方針の変更

該当なし

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
該当なし	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

5. 担保に供している資産

該当なし

財務諸表に対する注記

法人名：一般社団法人福島市観光コンベンション協会
事業名：事業全体

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	6,506,450	4,586,798	1,919,652
車輛運搬具	1,490,550	1,490,549	1
什器備品	1,938,780	1,384,752	554,028
敷金	2,654,400	0	2,654,400
保証金	2,200,000	0	2,200,000
出資金	735,000	0	735,000
その他の固定資産	2,262,507	1,204,372	1,058,135
合 計	17,787,687	8,666,471	9,121,216

7. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
出資金・株インフォメーション・ネットワーク福島	100,000	100,000	0
出資金・福島市観光開発株 176株	575,000	575,000	0
出資金・福島県旅行業協同組合 1口	50,000	50,000	0
出資金・福島中小企業労務協会	10,000	10,000	0
合 計	735,000	735,000	0